

## 東京大学大学院医学系研究科・医学部 倫理委員会

## 倫理審査/研究登録申請書

申請区分

- 非介入等研究倫理委員会  
 ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理委員会  
 介入等研究倫理委員会  
 臨床研究審査委員会

最終更新日 最新版 2020年02月14日  
 受理日 最新版 2020年02月14日

東京大学大学院医学系研究科長・医学部長 殿

申請者（研究責任者）氏名 : 古森 公浩  
 所属・職名 : 日本ステントグラフト実施基準管理委員会・委員長  
 電話 : 090-3014-1498  
 E-mail : komori@med.nagoya-u.ac.jp  
 研究倫理セミナー有効期限  
 なし(なし)

下記の研究について倫理審査/研究登録を申請いたします。

研究課題名	日本ステントグラフト実施基準管理委員会によるレジストリーデータの解析					
連絡担当者	氏名 : 保科 克行 所属 : 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 電話 : 30344 E-mail : katsuyuki1969@yahoo.co.jp					
研究分担者（自施設）	(氏名)	(所属)	(職名)	(内線)	(役割)	(研究倫理セミナー)
研究分担者（他施設）	(氏名)	(所属)	(職名)	(役割)		
	古森公浩	名古屋大学	教授	研究責任 医師		
	重松邦広	国際医療福祉大学	教授	研究の立案・実行		
	伊莉裕二	東海大学	教授	研究の立案・実行		
	当麻正直	兵庫県立尼崎総合医療センター	循環器内科部長	研究の立案・実行		
	吉川公彦	奈良県立医科大学	教授	研究の立案・実行		
	大木隆生	慈恵医科大学	教授	研究の立案・実行		
	細井温	杏林大学	教授	研究の立案・実行		
	西巻博	聖マリアンナ医科大学	教授	研究の立案・実行		
	西村隆	愛媛大学	准教授	研究の立案・実行		
	志水秀行	慶応義塾大学	教授	研究の立案・実行		
	宮田哲郎	国際医療福祉大学	教授	監事		
	石丸新	戸田中央総合病院	特任顧問	顧問		
	加藤雅明	森之宮病院	心臓血管外科顧問	事務局長		
	保科克行	東京大学	講師	データマ		

	ネー ジャー
研究協力者	(氏名) (所属) (職名) (役割)
教室責任者／診療科長	氏名：古森 公浩 所属：日本ステントグラフト実施基準管理委員会
添付資料一覧	資料1. 研究計画書(1).doc 資料2. 実施施設一覧 ver.1.docx 資料3. 情報開示文書(各施設)-1.docx 資料4. 情報開示(代表)(1).docx 依頼状_日本ステントグラフト実施基準管理委員会.doc 覚書_日本ステントグラフト実施基準管理委員会.docx

<審査/登録区分>

新規申請

追加申請

アクセス制限のあるデータベースの二次利用

研究登録

<対象となる法律・指針>

臨床研究法

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針

法律・指針の適用対象外

理由：

医療・健康に関連しない研究

既に匿名化されている情報（研究に用いる前から連結不可能匿名化されている情報）のみを用いる研究

既に学術的な価値が定まり、研究用として広く利用され、かつ、一般に入手可能な（アクセス制限のない）

試料・情報のみを用いる研究

特定の行政機関、独立行政法人等に具体的な権限・責務が法令で規定されている研究

その他の研究 [ ]

1. 研究課題名

日本ステントグラフト実施基準管理委員会によるレジストリーデータの解析

2. 研究の概要

(1) 研究期間

登録期間/対象期間 ※ゲノム研究の場合は、DNA 採取期間および対象期間	2006年04月01日～2024年12月 31日まで	研究期間	承認日～2024年12月31日まで
<該当する場合のみ> 一括審査時の分担施設として の実施/対象期間 ※ゲノム研究の場合は、DNA 採取期間および対象期間	承認日～まで		

(2) 研究体制

1)  研究者主導研究 (企業からの資金 あり なし)

2)  企業主導研究 (共同研究 受託研究 その他 ( ))

3)  企業以外の機関の主導研究 (機関名 )

4)  外部への業務委託がある (委託機関名 : )

(委託内容 : )

5)  先進医療 A [先進医療技術名 : ]

先進医療 B [先進医療技術名 : ]

患者申出療養

6)  単施設研究

多施設共同研究 ( 自施設が主任研究施設  自施設が分担研究施設)

主任施設名 : 日本ステントグラフト実施基準管理委員会

国際共同研究

共同研究施設総数 867 施設 (自施設含む)

審査対象の共同研究施設数 867 施設

施設名 :

日本ステントグラフト実施基準管理委員会  
他 別紙参照 (資料2)

2. 1. 研究の背景・目的

[ 1991年にPalodiらによって発表された大動脈瘤に対するステントグラフト治療は1、その低侵襲性によって瞬く間に全世界広まった。本邦ではいわゆる“デバイスラグ”といわれる新規デバイスの導入の遅れをみていたが、ついに2006年に腹部大動脈瘤用ステントグラフトが薬事承認されることとなった。それに先んじて2005年8月、日本血管外科学会は本邦における企業製造ステントグラフトの使用承認にあたり、本治療法を安全かつ有効に臨床導入するためには、実施施設および実施医に一定の基準を設ける必要があるとの認識にたち、理事長諮問機関として「ステントグラフト実施基準作成委員会」を設置した。同年12月2日開催の同委員会において、実施施設基準、実施医基準および指導医基準の文案について協議するとともに、今後は広く関連領域 (内科、外科、放射線科) 諸団体の参加を得て、日本血管外科学会基準案を叩き台とし「関連学会・研究会合同基準」を策定すべきとの結論に至った。2006年5月1日厚生労働省医薬食品局審査管理課より、関連学会に対して腹部大動脈瘤治療用ステントグラフトの有効性および安全性の確保に関して協力するよう依頼があった。同年7月11日、企業製造ステントグラフトが厚生労働省より使用承認され、2007年1月に特定保険医療材料として認可された。これにともない、医療材料の価格算定に関する留意事項として、「当該材料を使用するに当たっては、関連学会により作成された当該材料の実施基準に準じること。」の一項が付記された。その後関連学会 (統廃合の後、現在10学会：註) の理事会承認を得た「腹部大動脈瘤ステントグラフト実施基

準」が制定され、「日本ステントグラフト実施基準管理委員会」（以下、管理委員会という）が設立された。2007年には胸部大動脈ステントグラフトに関しても実施基準が定められた経緯がある<sup>2</sup>。この実施基準策定と同時に、ステントグラフト治療が実施された症例に対し、その効果と安全性を確認する目的で、またステントグラフト治療の実施設ならびに実施医が的確にフォローアップを行っているかをトラッキングする目的で、ステントグラフト治療全施行症例を対象としてレジストリー登録（追跡調査）が開始された。その結果、手技の安全性は実施・指導認定制度によって担保され、その効果と安全性がレジストリーによって確認されるようになった。

管理委員会としてレジストリーデータの公表は行ってきたが<sup>3</sup>、種々の因子ごとの生存率・合併症率などに関する解析などはauthorshipなどの問題からpendingになっていた。2017年になってデータマネージャーを設置して腹部ステントグラフトに関しての解析を論文化するに至った<sup>4</sup>。しかし同論文はあくまでもoverviewとしての立ち位置であり、膨大なデータを用いた各種テーマに応じた詳細な解析は未だされていない。これらのデータの検証と解析は、ステントグラフト治療、しいては大動脈治療全体の方針を大きく左右する可能性が高く、多くのシナリオによる多視点的なアプローチが望まれている。当初観察研究として本委員会ではホームページにデータ管理に関するレギュレーションを示してきたが、今後公募によって解析課題を募集しデータを公開するにあたり、その管理について再度評価をする必要があると考えられた。そのため委員会として倫理委員会に全てのデータ提供組織からの一括申請のご依頼させていただくことになった、という経緯である。

註：日本脈管学会、日本循環器学会、日本IVR学会、日本血管外科学会、日本心臓血管外科学会、日本静脈学会、日本血管内治療学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本人工臓器学会、日本胸部外科学会（順不同）

#### 文献リスト

1. Palodi JC, Berguer R, Ferreira LM, La Mura R, Schermerhorn ML: Intra-aneurysmal pressure after incomplete endovascular exclusion. J Vasc Surg 2001;33:909-14.
2. Obitsu Y, Ishimaru S, Shigematsu H. The educational system to master endovascular aortic repair in Japan - the Japanese Committee for Stentgraft Management. Eur J Vasc Endovasc Surg. 2010;39:55-59.
3. 日本ステントグラフト実施基準管理委員会ホームページ : <http://stentgraft.jp/>
4. Hoshina K, Ishimaru S, Sasabuchi Y, Yasunaga H, Komori K. Outcomes of endovascular repair for abdominal aortic aneurysms: a nationwide survey in Japan. Ann Surg 2019; 269: 564-573. ]

東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会既承認の研究課題との関連がある

[ 審査番号・研究課題名： ]

[ 内容： ]

## 2. 2. 研究の方法

### (1) 研究の分類

[ 前向きおよび後向き観察研究 ]

量的研究

質的研究

その他

### (2) 研究対象者

#### 1) 研究対象者数

症例 全体の予定人数（本学を含む） 200000 例

自施設での予定人数 0 例

対照 全体の予定人数（本学を含む） 例

自施設での予定人数 例

その他 全体の予定人数（本学を含む） 例

自施設での予定人数 例

#### 2) 対象者数の設定根拠

[ 先行論文において、2007年から2015年までで腹部において約5万件のレジストリー登録が認められた。2024年までに胸部も合わせると約20万症例が見込まれる。 ]

#### 3) 選択基準

① 組み入れ基準 [ 調査対象施設においてステントグラフト治療がなされたすべての患者 ]

②除外基準 [ 患者本人（または代諾者）によりオプトアウトの申し出があった患者。研究責任者が研究対象者として不適当と判断した患者 ]

③その他 [ ]

### (3) 侵襲と介入

#### 1) 研究対象者への侵襲

■なし

□軽微な侵襲 [判断理由: ]

□侵襲性が高い [判断理由: ]

#### 2) 研究対象者への介入

■なし

□あり [内容: ]

### (4) 研究と診療の線引き

[ 本研究への参加の有無で、診療内容は変更しない。診療で得られたデータを本研究で収集する。 ]

### (5) 研究方法

[ (1) 研究の種類・デザイン

前向きおよび後向き観察研究である。学会主導の多施設参加レジストリーで、施設における情報の収集は後ろ向きに行われる。施設はステントグラフト実施基準管理委員会の審査に合格した施設。

(2) 観察の対象

ステントグラフトを使用した患者。

治療を担当した医師あるいはその所属する施設（病院）は、治療前状態、治療成績およびその後 5 年以上の長期間にわたって得られた治療データを NCD (National Clinical Database: <http://www.ncd.or.jp/>) 経由で管理委員会の情報収集ウェブサイト (<https://system.stentgraft.jp/>) にオンライン登録する。NCDへの移行は2015年から開始している。

データはウェブサイトに登録する時点で、匿名化されている。全ての症例は各施設において手術同意と同時に各々の施設においてデータ使用に関しては、本委員会に紐付けされていることは患者に説明することになっている。このことは認定施設としての合格までの過程で、各施設は認知しているものである。匿名化された状態で登録されるため、結果の開示はできず、また800余例の施設数の全ての患者に文書同意をとり委員会で適宜管理することは困難であるため、オプトアウトとしている。

(3) 観察および検索目とその実施方法

調査項目は現在のところ下記のようにになっている。

調査項目（腹部）

1. 術前～退院時

<症例情報>

施設ID、年齢、性別、診断、瘤型、瘤形態、病態：病因、呼吸障害、在宅酸素、脳梗塞／出血、冠疾患、高血圧、糖尿病、クレアチン値、GFR、Hostile abdomen

<術前診断>

中枢固定口径、中枢固定長、中枢固定部石灰化、中枢固定部血栓、腎動脈下角度、動脈瘤頸部角度、動脈瘤径、右脚固定部、右脚口径、右脚長さ、右脚石灰化、右脚血栓、左脚固定部、左脚口径、左脚長さ、左脚石灰化、左脚血栓

<術直後>

麻酔法、SG機種、エンドリーク：部位、SG移動、付加機器、付加治療(1)、付加治療(2)、付加治療(3)、血管狭窄・閉塞、狭窄程度、閉塞治療、血管損傷、損傷治療、血栓・塞栓、血栓治療、輸血、脳神経障害、瘤破裂、破裂治療、ショック、ショック対応、術中経過、死因、EVAR前処置・治療

<退院時>

動脈瘤径、エンドリーク：部位、ステントグラフト移動、追加治療(1)、追加治療(2)、狭窄・閉塞、狭窄程度、狭窄・閉塞治療、新たな動脈損傷、動脈損傷治療、感染、感染治療、血栓・塞栓、血栓・塞栓治療、腎機能障害、脳神経障害、麻痺、瘤破裂、創、合併症、創部治療、その他の有害事象、併施治療（外科手術）、術後経過、死因、術後経過期間

2. 追跡調査（術後6カ月～10年）

<術後6カ月～5年>

受診状況、予後、死因（摘出理由）、生存期間（月）、瘤径、エンドリーク：部位、ステントグラフト移動、術後追加治療(1)、術後追加治療(2)、術後追加治療(3)、狭窄・閉塞、狭窄程度、狭窄治療、新たな動脈損傷、動脈損傷治療、感染症、感染治療、血栓・塞栓、腎機能障害、脳神経障害、麻痺、瘤破裂、瘤破裂治療、その他の偶発症

<術後6年～10年>

受診状況、予後、死因（摘出理由）、生存期間（月）、瘤径、エンドリーク：部位、瘤破裂、瘤破裂治療、その他有害事象

調査項目（胸部）

1. 術前～退院時

<症例情報>

症例ID、年齢、性別、施術日、施設ID、瘤型、Stanford分類、合併症、解離腔の状態、解離の病期、Primary entry、部位、Re-entry、部位、クレアチニン値、GFR計算値、呼吸障害（1秒率<75%）、在宅酸素、高血圧、脳障害、肝機能障害、慢性透析、頸動脈病変（エコー>75%狭窄）、冠動脈疾患（手術/PCI）、心疾患、脊髄神経障害、腹部大動脈瘤手術の既往、開胸手術歴、開腹手術歴、マルファン、大動脈炎、川崎病、ペーチェット、膠原病

<術前診断>

瘤の形態、瘤1 中枢、瘤1 末梢、瘤1 中枢、瘤2 末梢、瘤1 CL、瘤1 SL、瘤1 TL、瘤2 CL、瘤2 SL、瘤2 TL、中枢固定部口径、中枢固定部長さ、中枢固定部石灰化、中枢固定部血栓（粥腫）、動脈瘤径、末梢固定部口径、末梢固定部長さ、末梢固定部石灰化、末梢固定部血栓（粥腫）

<術直後>

ステントグラフト機種名、麻酔法、緊急度、シース挿入経路、シース挿入術式、Pull-through wire、ステントグラフト内挿、瘤1 中枢、瘤1 末梢、瘤1 中枢、瘤2 末梢、エンドリーク（1）、部位、Type、エンドリーク（2）、部位、Type、ステントグラフト移動、狭窄・閉塞、程度、X線被曝量、術中追加治療、閉塞分枝動脈、分枝動脈bypass、出血（要輸血）、部位、血管損傷、部位、分枝動脈閉塞、部位、血栓・塞栓症、部位、神経麻痺、部位、瘤破裂、部位、機器の不具合、部位、術中経過、死因、フリーコメント

<退院時>

画像診断（CT等）、動脈瘤径、エンドリーク（1）、部位、Type、エンドリーク（2）、部位、Type、ステントグラフト移動、部位、狭窄・閉塞、部位、程度、動脈損傷、部位、血栓・塞栓症、部位、腎機能障害、血液透析（新規）、脳神経障害、modified Rankin scale、対麻痺、多臓器障害、瘤破裂、創部合併症/術直後、その他、各事象とステントとの関連、コメント、追加（再）治療、術後経過、死亡日、死因、フリーコメント

2. 追跡調査（術後6カ月～10年）

<術後6カ月～5年>

追跡状況、理由、死亡日、「死因」または「摘出理由」、フリーコメント、瘤径、縮小率、エンドリーク（1）、部位、Type、エンドリーク（2）、部位、Type、ステントグラフト移動、狭窄・閉塞、部位、程度、動脈損傷、部位、血栓・塞栓症、部位、腎機能障害、血液透析（新規）、脳神経障害、modified Rankin scale、対麻痺、感染、瘤破裂、その他、各事象とステントとの関連、コメント、追加（再）治療

<術後6年～10年>

追跡状況、CT、理由、死亡日、「死因」または「摘出理由」、フリーコメント、瘤径、縮小率、エンドリーク（1）、部位、Type、エンドリーク（2）、部位、Type、ステントグラフト移動、狭窄・閉塞、部位、程度、動脈損傷、部位、瘤破裂、瘤破裂：追加治療、瘤破裂：転帰、その他、各事象とステントとの関連、コメント、追加（再）治療

（4）データ使用：収集された情報から解析や論文作成をする場合、委員会の承認を個々に受けたうえで、主任施設（first authorship）において個別に、その研究課題において倫理委員会の承認を得ることが必要である。委員会は必要な情報を（項目に応じて）データマネージャーが委員長許可のもと抽出するが、これらのデータはすでに匿名化されているので、単なるデータのフィルタリングという単純作業である。

またレジストリにアクセスできるのは委員長の許可を得た、本研究分担者である。]

3. 研究対象者の実体験と安全の確保

3. 1. 研究対象者の実体験

本研究への参加により、新たな実体験は発生しない。

3. 2. 研究対象者への負担やリスク・利益および対応策等

（1）身体的・心理的負担や潜在的なリスクの内容（費用負担や時間、情報漏えいを含む）

[ 匿名化されたデータを扱う研究であり、情報漏えいの可能性も少なく、リスクは少ないといえる ]

（2）研究対象者の利益がある場合の内容

[ 本レジストリーは日常診療における観察研究であり、研究対象者に直接の利益は生じない。得られた結果が今後のステントグラフト治療の改善に資される可能性がある。ステントグラフト治療は長期においては再治療・追加治療を要する可能性が高く、研究対象者が将来的に治療を受ける際に利益を得られる可能性がある。 ]

（3）研究成果を得るために（1）が不可避である理由

[ 情報漏えいは匿名化によって極めて少ない。 ]

（4）（1）の内容を最小限にするための対応策

[ 各施設での対応表の管理を厳重に行う。 ]

4. 情報開示

4. 1. 研究対象者への情報開示

(1) 研究対象者に対する個別の開示

開示する ( 偶発所見 健康上の重要な知見 重要な遺伝情報 ( ヒトゲノム・遺伝子解析研究のみ )  
その他 )

■開示しない [理由: 匿名化されており、開示はできない]

(2) 開示方法の詳細

4. 2. 研究内容の登録・結果の開示

登録: ■UMIN-CTR

jRCT

その他 [ ]

開示: ■学会発表

■論文

その他 [内容: ]

5. インフォームド・コンセント等

5. 1. 同意取得

(1) 同意取得等の方法

文書同意

口頭同意+記録作成

■オプトアウト (拒否機会の提供)

情報公開のみ

その他 [ ]

(2) 同意取得・撤回の詳細

[ 情報開示・オプトアウト用の資料3を各施設のホームページなどに掲載し、同様に資料4を日本ステントグラフト実施基準管理委員会のホームページに掲載する。 ]

5. 2. 特別な配慮を要する研究対象者

(1) 要配慮対象者の参加

なし

■あり ( ■未成年 [対象年齢 0歳から] ■その他 [年齢や精神的な疾患などによる認知機能が低下した患者。意識状態が低下した患者。情報登録時点で死亡している患者] )

インフォームド・アセントを得る (アセント文書 あり なし)

■インフォームド・アセントを得ない

(2) 要配慮対象者への対応の詳細

[ 未成年者、認知機能低下患者、死亡した患者の対象者は、家族などからのオプトアウトも受け付ける ]

5. 3. 研究対象者等からの問い合わせへの対応者

■研究責任者

■連絡担当者

■その他 (氏名) 中小原恵 (所属) 日本ステントグラフト実施基準管理委員会事務局 (職名) 事務局

(研究対象者が連絡をとる方法) メール (連絡先) stentgraft@secretariat.ne.jp

## 6. 試料・情報の取り扱い

### 6. 1. 試料・情報の入手

#### (1) 入手区分

既存の試料を利用

■ 既存の情報を利用

研究目的で新たに取得

#### (2) 入手・授受経路

(各施設が) 自施設内で入手する

■ 共同研究施設間で受け渡す (  試料 ■ 情報 ■ 解析結果 )

共同研究施設以外から提供を受ける [ 提供元 : ]

#### (3) 入手・授受の詳細

[ 施設に対応表をおき、匿名化された情報をレジストリー上で入力する。その匿名化されたデータをNCD (National Clinical Database) および日本ステントグラフト実施基準管理委員会が保管管理する。各施設は自らが登録したデータのみは閲覧が可能である (これは、フォローアップ登録時に見直すときに必要である)。全体の情報は見ることはできない。 ]

#### (4) 試料・情報の内容

試料

血液 (量 : ml)

組織 (内容と量 : )

その他 [ ]

■ 情報 [ 内容 : 匿名化された患者背景 (年齢、性別) および治療のアウトカム (死亡や合併症など) ]

■ 個人識別情報等

■ 氏名 ■ 患者ID  電話番号・メールアドレス  住所  音声・画像

■ 要配慮個人情報 ( ■ 診療録 (内容 )  その他 [ ] )

個人識別符号 (  ゲノムデータ  その他 [ ] )

その他個人情報とみなすもの (  生年月日  その他 ( ) )

### 6. 2. 匿名化等

#### (1) 匿名化等の区分

■ 対応表を作成する/既に作成されている [ 対応表のある場所 : 各共同研究施設 ]

対応表を作成しない [ 理由 : ]

匿名化しない [ 理由 : ]

入手前から匿名化され個人をたどれない試料・情報のみを収集する

匿名加工情報を作成・利用する [ 内容 : ]

#### (2) 個人情報を扱う理由と匿名化について

[ 一人の患者が複数回の治療を行うため、その複数回の治療を紐づける必要がある。 ]

### 6. 3. 試料・情報の解析

解析を行う施設名（統計解析手法：本レジストリーの目的は集計であり、記述統計を主に用いる。連続変数は平均・標準偏差、中央値、四分位範囲で、カテゴリー変数は実数と割合とで集計を行う。二群間の比較に関しては、Student t検定、もしくは多変量解析を行う。多変量解析については、多重線形回帰、ロジスティック回帰分析をそれぞれアウトカム変数の性質によって使い分ける。生存時間解析については、単変量ではKaplan Meier法、多変量ではCox比例ハザードモデルを用いる。上記は基本的な方針であり、その他統計専門家と相談の上、決定する。

統計解析は、前述のように研究課題ごとに筆頭著者の施設において行われる。それぞれ個別の倫理委員会に承認された研究スキームに応じたものである。あくまでも上記は基本的な方針である。）

解析項目・解析方法 ( )

### 6. 4. 試料・情報の保管および廃棄

#### (1) 保管・廃棄の場所・方法

試料 (  血液  組織 (内容：)  その他 [ ] )

[ 保管場所 ]

[ 保管の方法 ]

[ 廃棄の時期と方法 ]

匿名化しない情報

[ 保管場所 ]

[ 保管の方法 ]

[ 廃棄の時期と方法 ]

#### ■ 匿名化前の情報

[ 保管場所 各共同施設 ]

[ 保管の方法 診療録のため、各施設の規定に従う ]

[ 廃棄の時期と方法 ]

#### ■ 匿名化後の情報

[ 保管場所 NCDおよび日本ステントグラフト実施基準管理委員会 ]

[ 保管の方法 インターネットのサーバーに保管。研究終了後5年間保管期間後、または委員会解散などの場合には、適切な方法で削除する。 ]

[ 廃棄の時期と方法 ]

#### ■ 対応表

[ 保管場所 各共同施設 ]

[ 保管の方法 インターネットにつながっていないPCに、パスワードロックのかかったエクセルファイルとして保管。研究終了後5年間保管期間後、または委員会解散などの場合には、適切な方法で削除する。 ]

[ 廃棄の時期と方法 研究終了時に対応表を廃棄する。 ]

個人識別符号 (ゲノムデータ等)

[ 保管場所 ]

[ 保管の方法 ]

[ 廃棄の時期と方法 ]

(2) 保管・廃棄責任者

■研究責任者

□連絡担当者

□その他 (氏名) (所属) (職名)

(3) 細胞・遺伝子・組織バンクおよびデータベースへの試料・情報の提供の予定

■なし

□あり [名称等: ]

7. モニタリング・監査等の実施体制・手順

7. 1. モニタリング

■実施しない

□実施する

モニタリング担当・実施機関

□診療科

□臨床研究推進センター

□その他 [ ]

モニタリング責任者 (氏名) (所属) (職名)

8. 実施機関の長への報告

■東京大学の業務手順書に従い、研究倫理審査申請システムを用いて申請・報告を行う

□その他 [ ]

9. 研究対象者への謝礼および負担軽減費

■なし

□あり [ ]

10. 研究によって生じた健康被害に対する補償・賠償

■なし

□臨床研究保険

□医師賠償責任保険

□その他 [ ]

11. 研究資金源等および利益相反に関する状況

11. 1. 資金源

□公的機関からの資金 [ 課題名: 代表者名: ]

□運営費交付金

□奨学寄附金

□共同研究費 (相手先名称 )

□受託研究費 (相手先名称 )

研究医療費

■その他〔日本ステントグラフト実施基準管理委員会の通常予算。同委員会には各施設および実施医から認定登録料（施設認定および個人の実施医・指導医資格）が納入されている。また同委員会には、現在市販されているステントグラフトの企業すべてが賛助会員として年会費を納入している。〕

### 1 1. 2. 企業からの資金以外の提供

■なし

あり

医薬品・医療機器等の提供〔物品の名称および提供元： 〕

労務提供〔内容： 〕

その他〔 〕

### 1 1. 3. 利益相反に関する状況

開示すべき利益相反関係はない

■開示する

### 1 2. 備考欄

1) 一括審査に含まれる各施設での利益相反管理体制  
2) 一括審査に含まれる各施設の研究者の倫理教育受講状況  
3) 個人情報の管理が適切に行われること  
4) 研究機関／研究組織の長による実施の許可をもって研究を開始する旨  
上記1)～4)については、研究に参加する一括審査希望の各施設に連絡の上確認しております。  
研究は長期にわたってのフォローを計画しており、研究機関は適宜変更申請を提出する予定である。

## 臨床研究

「日本ステントグラフト実施基準管理委員会によるレジストリーデータの解析」

## 研究計画書

試験責任医師(研究代表者):

古森公浩

日本ステントグラフト実施基準管理委員会委員長

名古屋大学医学部附属病院 血管外科 教授

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL: 052-741-2111

E-Mail: komori@med.nagoya-u.ac.jp

連絡担当者: 保科克行

日本ステントグラフト実施基準管理委員会データマネージャー

東京大学医学部附属病院 血管外科

TEL: 03-3815-5411 内線 30344

2020年1月1日

計画書案 第1版作成

## 1. 研究の背景

1991年にPalodiらによって発表された大動脈瘤に対するステントグラフト治療は<sup>1</sup>、その低侵襲性によって瞬く間に全世界広まった。本邦ではいわゆる“デバイスラグ”といわれる新規デバイスの導入の遅れをみていたが、ついに2006年に腹部大動脈瘤用ステントグラフトが薬事承認されることとなった。それに先んじて2005年8月、日本血管外科学会は本邦における企業製造ステントグラフトの使用承認にあたり、本治療法を安全かつ有効に臨床導入するためには、実施施設および実施医に一定の基準を設ける必要があるとの認識にたち、理事長諮問機関として「ステントグラフト実施基準作成委員会」を設置した。同年12月2日開催の同委員会において、実施施設基準、実施医基準および指導医基準の文案について協議するとともに、今後は広く関連領域(内科、外科、放射線科)諸団体の参加を得て、日本血管外科学会基準案を叩き台とし「関連学会・研究会合同基準」を策定すべきとの結論に至った。

2006年5月1日厚生労働省医薬食品局審査管理課より、関連学会に対して腹部大動脈瘤治療用ステントグラフトの有効性および安全性の確保に関して協力するよう依頼があった。同年7月11日、企業製造ステントグラフトが厚生労働省より使用承認され、2007年1月に特定保険医療材料として認可された。これにともない、医療材料の価格算定に関する留意事項として、「当該材料を使用するに当たっては、関連学会により作成された当該材料の実施基準に準拠すること。」の一項が付記された。

その後関連学会(統廃合の後、現在10学会:註)の理事会承認を得た「腹部大動脈瘤ステントグラフト実施基準」が制定され、「日本ステントグラフト実施基準管理委員会」(以下、管理委員会という)が設立された。2007年には胸部大動脈ステントグラフトに関しても実施基準が定められた経緯がある<sup>2</sup>。この実施基準策定と同時に、ステントグラフト治療が実施された実施された症例に対し、その効果と安全性を確認する目的で、またステントグラフト治療の実施施設ならびに実施医が的確にフォローアップを行っているかをトラッキングする目的で、ステントグラフト治療全施行症例を対象としてレジストリー登録(追跡調査)が開始された。その結果、手技の安全性は実施・指導認定制度によって担保され、その効果と安全性がレジストリーによって確認されるようになった。

管理委員会としてレジストリーデータの公表は行ってきたが<sup>3</sup>、種々の因子ごとの生存率・合併症率などに関する解析などはauthorshipなどの問題からpendingになっていた。2017年になってデータマネージャーを設置して腹部ステントグラフトに関する解析を論文化するに至った<sup>4</sup>。しかし同論文はあくまでもoverviewとしての立ち位置であり、膨大なデータを用いた各種テーマに応じた詳細な解析は未だされていない。これらのデータの検証と解析は、ステントグラフト治療、しいては大動脈治療全体の方針を大きく左右する可能性が高く、多くのシナリオによる多視点的なアプローチが望まれている。

註:日本脈管学会、日本循環器学会、日本IVR学会、日本血管外科学会、日本心臓血管外科学会、日本静脈学会、日本血管内治療学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本人工臓器学会、日本胸部外科学会(順不同)

## 2. 研究の目的

大動脈瘤に対する治療法として開発されたステントグラフト内挿術の歴史は未だ浅く、とくに長期間にわたる治療効果については十分明らかにされていない。本追跡調査は、わが国において厚生労働省が使用承認したステントグラフト機器を用いて大動脈瘤の治療を受けた患者の治療前より治療後長期にわたる治療データを収集分析することにより、当該治療法の安全性の確立と質の向上をはかるとともに、その結果を一般公開して国民の医療知識を醸成し、以って福祉健康の増進に寄与することを目的とする。

## 3. 研究の方法

### (1) 研究の種類・デザイン

前向きおよび後向き観察研究である。学会主導の多施設参加レジストリーで、施設における情報の収集は後ろ向きに行われる。

### (2) 観察の対象

ステントグラフトを使用した患者。

治療を担当した医師あるいはその所属する施設(病院)は、治療前状態、治療成績およびその後 5 年以上の長期間にわたって得られた治療データは 2015 年末までは管理委員会の持つサーバーに、2016 年以降は NCD (National Clinical Database: <http://www.ncd.or.jp/>) 経由で管理委員会の情報収集ウェブサイト (<https://system.stentgraft.jp/>) にオンライン登録されている。

### (3) 観察および検索目とその実施方法

調査項目は現在のところ下記のようにになっている。

### 調査項目(腹部)

#### 1. 術前～退院時

##### < 症例情報 >

施設 ID、年齢、性別、診断、瘤型、瘤形態、病態: 病因、呼吸障害、在宅酸素、脳梗塞 / 出血、冠疾患、高血圧、糖尿病、クレアチニン値、GFR、Hostile abdomen

##### < 術前診断 >

中枢固定口径、中枢固定長、中枢固定部石灰化、中枢固定部血栓、腎動脈下角度、動脈瘤頸部角度、動脈瘤径、右脚固定部、右脚口径、右脚長さ、右脚石灰化、右脚血栓、左脚固定部、左脚口径、左脚長さ、左脚石灰化、左脚血栓

##### < 術直後 >

麻酔法、SG機種、エンドリーク: 部位、SG移動、付加機器、付加治療(1)、付加治療(2)、付加治療(3)、血管狭窄・閉塞、狭窄程度、閉塞治療、血管損傷、損傷治療、血栓・塞栓、血栓治療、輸血、脳神経障害、瘤破裂、破裂治療、ショック、ショック対応、術中経過、死因、EVAR 前処置・治療

##### < 退院時 >

動脈瘤径、エンドリーク: 部位、ステントグラフト移動、追加治療(1)、追加治療(2)、狭窄・閉塞、

狭窄程度、狭窄・閉塞治療、新たな動脈損傷、動脈損傷治療、感染、感染治療、血栓・塞栓、血栓・塞栓治療、腎機能障害、脳神経障害、麻痺、瘤破裂、創、合併症、創部治療、その他の有害事象、併施治療(外科手術)、術後経過、死因、術後経過期間

## 2. 追跡調査(術後6カ月～10年)

### <術後6カ月～5年>

受診状況、予後、死因(摘出理由)、生存期間(月)、瘤径、エンドリーク:部位、ステントグラフト移動、術後追加治療(1)、術後追加治療(2)、術後追加治療(3)、狭窄・閉塞、狭窄程度、狭窄治療、新たな動脈損傷、動脈損傷治療、感染症、感染治療、血栓・塞栓、腎機能障害、脳神経障害、麻痺、瘤破裂、瘤破裂治療、その他の偶発症

### <術後6年～10年>

受診状況、予後、死因(摘出理由)、生存期間(月)、瘤径、エンドリーク:部位、瘤破裂、瘤破裂治療、その他有害事象

## 調査項目(胸部)

### 1. 術前～退院時

#### <症例情報>

症例ID、年齢、性別、施術日、施設ID、瘤型、Stanford分類、合併症、解離腔の状態、解離の病期、Primary entry、部位、Re-entry、部位、クレアチニン値、GFR 計算値、呼吸障害(1秒率<75%)、在宅酸素、高血圧、脳障害、肝機能障害、慢性透析、頸動脈病変(エコー>75%狭窄)、冠動脈疾患(手術/PCI)、心疾患、脊髄神経障害、腹部大動脈瘤手術の既往、開胸手術歴、開腹手術歴、マルファン、大動脈炎、川崎病、ベーチェット、膠原病

#### <術前診断>

瘤の形態、瘤1 中枢、瘤1 末梢、瘤1 中枢、瘤2 末梢、瘤1 CL、瘤1 SL、瘤1 TL、瘤2 CL、瘤2 SL、瘤2 TL、中枢固定部口径、中枢固定部長さ、中枢固定部石灰化、中枢固定部血栓(粥腫)、動脈瘤径、末梢固定部口径、末梢固定部長さ、末梢固定部石灰化、末梢固定部血栓(粥腫)

#### <術直後>

ステントグラフト機種名、麻酔法、緊急度、シース挿入経路、シース挿入術式、Pull through wire、ステントグラフト内挿、瘤1 中枢、瘤1 末梢、瘤1 中枢、瘤2 末梢、エンドリーク(1)、部位、Type、エンドリーク(2)、部位、Type、ステントグラフト移動、狭窄・閉塞、程度、X線被曝量、術中追加治療、閉塞分枝動脈、分枝動脈 bypass、出血(要輸血)、部位、血管損傷、部位、分枝動脈閉塞、部位、血栓・塞栓症、部位、神経麻痺、部位、瘤破裂、部位、機器の不具合、部位、術中経過、死因、フリーコメント

#### <退院時>

画像診断(CT等)、動脈瘤径、エンドリーク(1)、部位、Type、エンドリーク(2)、部位、Type、ステントグラフト移動、部位、狭窄・閉塞、部位、程度、動脈損傷、部位、血栓・塞栓症、部位、腎機能障害、血液透析(新規)、脳神経障害、modified Rankin scale、対麻痺、多臓器障害、瘤破裂、創部合併症/術直後、その他、各事象とステントとの関連、コメント、追加(再)治療、術後経過、死亡日、死因、フリーコメント

## 2. 追跡調査(術後6カ月～10年)

< 術後6カ月～5年 >

追跡状況、理由、死亡日、「死因」または「摘出理由」、フリーコメント、瘤径、縮小率、エンドリーク(1)、部位、Type、エンドリーク(2)、部位、Type、ステントグラフト移動、狭窄・閉塞、部位、程度、動脈損傷、部位、血栓・塞栓症、部位、腎機能障害、血液透析(新規)、脳神経障害、modified Rankin scale、対麻痺、感染、瘤破裂、その他、各事象とステントとの関連、コメント、追加(再)治療

< 術後6年～10年 >

追跡状況、CT、理由、死亡日、「死因」または「摘出理由」、フリーコメント、瘤径、縮小率、エンドリーク(1)、部位、Type、エンドリーク(2)、部位、Type、ステントグラフト移動、狭窄・閉塞、部位、程度、動脈損傷、部位、瘤破裂、瘤破裂:追加治療、瘤破裂:転帰、その他、各事象とステントとの関連、コメント、追加(再)治療

(参考)入力の実際の画面(腹部)

Stentgraft Web  
ようこそ 医療法人社団東光会 伊田中央総合病院 管理者1 先生  
ホーム Webカンファランス お問い合わせ ログアウト

ホーム 腹部 胸部  
ユーザー情報管理 施設情報管理 登録権管理 お知らせ管理 調査結果管理 掲示板管理

ホーム > 腹部ステントグラフト > 症例情報詳細

新規症例登録 登録実績 入力状況

症例情報詳細 (腹部) - 術前診断  
症例情報 登録ID: 1 施行日: 2006-12-15  
術前診断 術後経過 術後検査 再入院時

6ヶ月 1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 10年

※腸骨動脈に直型SGを使用しF-F bypass等を置いた場合、対側部には「なし」を選択し、「口径 (DD)」と「長さ (DL)」に「0」を入力、「石灰化」と「血栓」は「なし」を選択してください。  
※腸骨動脈を中固定部とした場合、各計測値を入力したうえ、動脈屈曲角度 (RA) (AA)については「なし」を選択してください。

術前診断

中固定部

口径 (PD)	22.00 mm
長さ (PL)	21.00 mm
石灰化	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり (≧25%)
血栓	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり (≧25%)
腎動脈下角度 (RA)	<input checked="" type="radio"/> <45° <input type="radio"/> > <input type="radio"/> なし
動脈瘤頭部角度 (AA)	<input checked="" type="radio"/> <60° <input type="radio"/> > <input type="radio"/> なし

動脈瘤径

CT最大短径 (MD) 53.00 mm  拡張部径 (囊状瘤)  mm  
※囊状または仮性瘤の場合は拡張部の径を入力 \* 解離の場合は真腔と偽腔を合わせた最大短径を入力

末梢固定部

右側部

<input checked="" type="radio"/> 総腸骨動脈 <input type="radio"/> 外腸骨動脈 <input type="radio"/> なし	
※「なし」の場合は各測定値を「0」を入力してください。	
口径 (RDD)	16.00 mm
長さ (RDL)	39.00 mm
石灰化	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり (≧25%)
血栓	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり (≧25%)

左側部

<input checked="" type="radio"/> 総腸骨動脈 <input type="radio"/> 外腸骨動脈 <input type="radio"/> なし	
※「なし」の場合は各測定値を「0」を入力してください。	
口径 (LDD)	17.00 mm
長さ (LDL)	47.00 mm
石灰化	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり (≧25%)
血栓	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり (≧25%)

一時的保存 確認 リセット  
※一時保存状態になると一般ユーザーも編集可能になります

## (4) 解析方法

組み入れられた患者の基本情報、治療情報、画像情報、アウトカムについて統計解析を行う。データは登録時にすでに匿名化されており、同データ群から必要な項目を管理委員会から抽出して提供される。同データはパスワードによって管理される。

#### 4. 研究参加者の実体験

本研究は、過去に行われた画像検査、手術記録、診療録をもとに登録されるレジストリーであり、新たな検査や治療が本研究のために行われることはない。

#### 5. 予想される利益・不利益

本レジストリーは日常診療における観察研究であり、研究対象者に直接の利益は生じない。得られた結果が今後のステントグラフト治療の改善に資される可能性がある。ステントグラフト治療は長期においては再治療・追加治療を要する可能性が高く、研究対象者が将来的に治療を受ける際に利益を得られる可能性がある。

観察研究であるため参加に際しての不利益は生じないと考える。また匿名化されたデータを扱うために情報漏洩のリスクは極めて少ない。

#### 6. 個々の研究対象者における中止基準

研究中止時の対応：

研究責任者または担当者は、次に挙げる理由で個々の研究対象者について研究継続が不可能と判断した場合には、当該対象者に対する研究を中止する。その際は必要に応じて中止の理由を各施設の担当者を介して説明する（ホームページ上開示を含む）。また中止後の研究対象者の治療については、対象者の不利益にならないように誠意をもって対応する。

< 中止基準 >

- 研究対象者から研究参加の自体の申し出や同意の撤回があった場合
- 本研究全体が中止された場合
- その他の理由により研究担当者（各施設）が研究の中止が適切と判断した場合

#### 7. 研究の終了、中止、中断

##### (1) 研究の変更

本研究の研究実施計画書や同意説明文書の変更または改訂を行う場合は、あらかじめ東京大学医学部倫理委員会の承認を必要とする。

##### (2) 研究の中止、中断

研究責任医師は、以下の事項に該当する場合は研究実施継続の可否を検討する。

管理委員会が解散したとき

管理委員会の決議でこれ以上のリクルートが不要、などの理由からレジストリー構築が中

止となったとき

倫理委員会により、実施計画など変更の指示があり、これを受け入れることが困難と判断されたとき。

研究責任者は倫理委員会より、中止の勧告あるいは指示があった場合には、試験を中止する。

(3) 研究の終了

研究の終了時には、研究者は速やかに研究終了報告書を東京大学医学部倫理委員会委員長に提出する。

## 8. 試験実施期間

倫理委員会承認後～2024年12月31日(登録締切日:2024年12月31日)。研究期間を延長する場合は、別途倫理委員会の承認を得る。

## 9. データの集計および統計解析方法

統計解析手法:本レジストリーの目的は集計であり、記述統計を主に用いる。連続変数は平均・標準偏差、中央値、四分位範囲で、カテゴリー変数は実数と割合とで集計を行う。二群間の比較に関しては、Student t 検定、もしくは多変量解析を行う。多変量解析については、多重線形回帰、ロジスティック回帰分析をそれぞれアウトカム変数の性質によって使い分ける。生存時間解析については、単変量ではKaplan Meier 法、多変量ではCox 比例ハザードモデルを用いる。上記は基本的な方針であり、その他統計専門家と相談の上、決定する。

## 10. 研究対象者の人権に対する配慮および個人情報保護の方法

本研究のすべての担当者は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(以下倫理指針)」を遵守して実施する。

研究実施に係る情報を取扱う際は、研究対象者の個人情報とは無関係の符号又は番号との対応表を作成のうえ、どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう匿名化して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮する。対応表は各施設の研究責任者の下で管理される。外部機関から情報の提供を受ける場合は、提供元機関にて上記のように匿名化された番号を使用し、対応表の提供を受けない。研究結果は、研究対象者にプライバシー上の不利益が生じないよう、適切に匿名化されていることを確認したうえで公表を行う。研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しない。本研究は、協力研究施設において診療録から後ろ向きに収集された情報を、レジストリーにおいて前向きに収集するものである。協力研究施設において後ろ向きに収集されるデータであるため、侵襲を伴わず、介入も行わない。さらに匿名化したデータのみを収集する。本研究は、以下のような特性を持つ。ステントグラフト治療は手術に際してのインフォームドコンセントが得られている。その際画像データなどの匿名化した上での利用に関しては、各施設で包括同意が得られている。対象患者数・施設数多いことから、インフォームドコンセントを取得した場合に

は、匿名化したデータの収集のために、新たに個人情報に記載された同意書等が多数発生する結果となり、配慮すべき個人情報自体を増大させる結果となる。インフォームド・コンセントの手順を踏むことは全体の回収率の低下だけではなく、回収率の施設差につながる可能性がある。本研究は学会主導であり、得られた結果は公益性が高いものと考えられる。こうしたことから、本研究は、共同研究施設からの情報登録を伴うが、指針第5章第12-1(3)アにおいて規定されている文章によるインフォームド・コンセントの取得が困難である。このため、同意取得においては、指針第5章12の7(2)に基づいて、添付資料3,4に示すようなオプトアウトの機会を多段階で設け、オプトアウトの意思を期間内に表明しなかった患者に対しては、研究への参加の同意を得たとみなすこととする。なお、指針の第5章第12の1(1)に定められる、情報の提供・收受の記録についても、NCDシステムおよび管理委員会レジストリー自体で、記入日時、記入者の情報が保存される。その結果、情報を提供する施設側での提供に関する記録については自動で保管される。また管理委員会で、提供・收受の記録についての定期的なシステム上での監査と、手続きの確認、さらには記録の保管を行うこととしている。

## **11. 同意取得の方法**

主任施設用のオプトアウト文書を管理委員会のホームページに掲示し、オプトアウトの機会を設ける。また各共同研究施設では、それぞれのオプトアウト文書を各施設のホームページに掲載してオプトアウトの機会を設ける。

## **12. 研究対象者の健康被害に対する補償**

本研究は観察研究であり、日常診療を行って研究対象者の情報を利用するものである。また、試料等の採取は行われない。従って、本研究に伴う研究対象者への健康被害は発生しないと考えられるため、補償は準備しない。

## **13. 研究対象者の費用負担**

本研究は、通常の保険診療内で行われるため、研究に参加することによる患者の費用負担は発生しない。

## **14. 情報の保管及び廃棄と研究結果の公表**

研究責任者は、研究終了後本研究に関わる情報を個人情報に注意して廃棄する。また、本研究に関わる情報を研究期間終了後5年間保管し、その後は個人情報に注意して廃棄する。研究担当者は、本研究の成果を関連学会等において発表することにより公表する。

## **15. 研究資金および利益相反**

本研究は、管理委員会が拠出する費用で実施する。また、本研究の研究担当者は、「利益相反マネジメント規程」の規定に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、必要に応じてその審査と承認を得るものとする。

## 16. 研究実施体制

本研究は以下の体制で実施する。

【研究代表者】日本ステントグラフト実施基準管理委員会 委員長 古森公浩（名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地 名古屋大学医学部附属病院血管外科 教授）

【研究担当者】日本ステントグラフト実施基準管理委員会 データマネージャー 保科克行（東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部附属病院）

【研究事務局】日本ステントグラフト実施基準管理委員会 事務局

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2 三番町 KS ビル

(株)コンベンションリンクージ内

FAX: 03-3263-8687

E-mail: [stentgraft@secretariat.ne.jp](mailto:stentgraft@secretariat.ne.jp)

【参加施設】

別紙参照

## 16. 文献リスト

1. Palodi JC, Berguer R, Ferreira LM, La Mura R, Schermerhorn ML: Intra-aneurysmal pressure after incomplete endovascular exclusion. *J Vasc Surg* 2001;33:909-14.
2. Obitsu Y, Ishimaru S, Shigematsu H. The educational system to master endovascular aortic repair in Japan – the Japanese Committee for Stentgraft Management. *Eur J Vasc Endovasc Surg.* 2010;39:55-59.
3. 日本ステントグラフト実施基準管理委員会ホームページ: <http://stentgraft.jp/>
4. Hoshina K, Ishimaru S, Sasabuchi Y, Yasunaga H, Komori K. Outcomes of endovascular repair for abdominal aortic aneurysms: a nationwide survey in Japan. *Ann Surg* 2019; 269: 564-573.

## 実施施設一覧(2019年10月時点)

### < 腹部 >

JA 愛知厚生連安城更生病院
KKR 札幌医療センター
NTT 東日本札幌病院
いわき市医療センター(いわき市立総合磐城共立病院)
さいたま市立病院
さいたま赤十字病院
愛知医科大学病院
一宮市立市民病院
愛媛県立中央病院
旭川医科大学病院
旭川赤十字病院
杏林大学医学部付属病院
伊勢崎市民病院
あかね会土谷総合病院
医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院
社会医療法人近森会近森病院
医療法人敬和会大分岡病院
医療法人光晴会病院
医療法人財団明理会 春日部中央総合病院
社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院
医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院
医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院
医療法人社団誠馨会新東京病院
医療法人澄心会豊橋ハートセンター
聖マリア病院
社会医療法人大道会 森之宮病院
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
王子総合病院
岡山大学病院
沖縄県立中部病院
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院
地方独立行政法人 下関市立市民病院
関西医科大学総合医療センター
岸和田徳洲会病院

岐阜県立多治見病院
医療法人五星会菊名記念病院
久留米大学病院
宮崎県立延岡病院
宮崎大学医学部附属病院
社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院
京都大学医学部附属病院
京都第一赤十字病院
京都第二赤十字病院
京都府立医科大学附属病院
近畿大学医学部奈良病院
近畿大学医学部附属病院
金沢医科大学病院
金沢大学附属病院
JCHO 九州病院
九州大学病院
熊本赤十字病院
熊本大学医学部附属病院
浜松医療センター
県立広島病院
医療法人社団東光会戸田中央総合病院
奈良県立医科大学附属病院
広島市立安佐市民病院
広島市立広島市民病院
弘前大学医学部附属病院
香川県立中央病院
国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
国家公務員共済組合連合会熊本中央病院
独立行政法人国立国際医療研究センター
国立循環器病研究センター病院
国立病院機構熊本医療センター
独立行政法人国立病院機構長良医療センター
佐久総合病院 佐久医療センター
済生会横浜市南部病院
社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院
社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院
済生会新潟第二病院
財団法人永頼会松山市民病院
一般財団法人厚生会仙台厚生病院

一般財団法人 住友病院
公益財団法人心臓血管研究所付属病院
財団法人星総合病院
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
太田西ノ内病院
公益財団法人天理よろづ相談所病院
財団法人田附興風会医学研究所北野病院
公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院
総合南東北病院
埼玉医科大学国際医療センター
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
札幌医科大学附属病院
札幌東徳洲会病院
三重大学医学部附属病院
三豊総合病院
山形県立中央病院
山口県立総合医療センター
山口大学医学部附属病院
伊勢赤十字病院
山梨大学医学部附属病院
市立旭川病院
市立釧路総合病院
市立札幌病院
市立四日市病院
小樽市立病院
市立函館病院
社会医療法人財団慈泉会相澤病院
滋賀県立総合病院
自治医科大学附属さいたま医療センター
自治医科大学附属病院
鹿児島大学病院
社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
社会福祉法人三井記念病院
社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院
小倉記念病院
社会医療法人愛仁会 明石医療センター
医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院
秋田厚生連 平鹿総合病院
秋田大学医学部附属病院

順天堂大学医学部附属順天堂医院
小牧市民病院
昭和大学病院
昭和大学藤が丘病院
松山赤十字病院
沼田脳神経外科循環器科病院
信州大学医学部附属病院
社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院
心臓病センター榊原病院
新潟県立新発田病院
新潟大学医歯学総合病院
製鉄記念室蘭病院
神戸赤十字病院
神戸大学医学部附属病院
神奈川県立循環器呼吸器病センター
水戸済生会総合病院
聖マリアンナ医科大学病院
聖隷浜松病院
聖路加国際病院
青森県立中央病院
静岡赤十字病院
千葉県循環器病センター
川崎医科大学附属病院
川崎市立川崎病院
総合大雄会病院
大垣市民病院
大阪医科大学附属病院
大阪市立大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院
大阪府三島救命救急センター
大阪急性期・総合医療センター
大分大学医学部附属病院
医療法人社団松和会 池上総合病院
筑波メディカルセンター病院
筑波大学附属病院
中通総合病院
長岡赤十字病院
長崎大学病院
長野医療生活協同組合長野中央病院

鳥取県立中央病院
鳥取大学医学部附属病院
津山中央病院
帝京大学医学部附属病院
島根県立中央病院
東海大学医学部附属病院
東京医科歯科大学医学部附属病院
東京医科大学病院
東京歯科大学市川総合病院
東京慈恵会医科大学附属病院
東京女子医科大学東医療センター
東京女子医科大学病院
東京大学医学部附属病院
東京都立広尾病院
東大和病院
東宝塚さとう病院
東邦大学医療センター大森病院
東北大学病院
藤田医科大学病院
徳島県立中央病院
徳島大学病院
社会医療法人北海道循環器病院
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
独立行政法人国立病院機構岩国医療センター
独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
独立行政法人国立病院機構九州医療センター
独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター
独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター
独立行政法人国立病院機構静岡医療センター
四国こどもとおとなの医療センター
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
独立行政法人国立病院機構浜田医療センター
独立行政法人国立病院機構北海道医療センター
独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院
独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院
独立行政法人労働者健康福祉機構神戸労災病院
栃木県済生会宇都宮病院
日本医科大学千葉北総病院
日本医科大学附属病院

【胸部暫定施設】日本赤十字社医療センター
日本大学医学部附属板橋病院
飯塚病院
浜松医科大学医学部附属病院
福井心臓血圧センター福井循環器病院
福岡県済生会福岡総合病院
福岡大学病院
福岡徳洲会病院
福山市民病院
福島県立医科大学附属病院
兵庫医科大学病院
兵庫県立姫路循環器病センター
北海道大学病院
北里大学病院
名寄市立総合病院
名古屋大学医学部附属病院
名古屋第一赤十字病院
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院
洛和会音羽病院
琉球大学医学部附属病院
和歌山県立医科大学附属病院
獨協医科大学病院
横浜市立大学附属病院
岡崎市民病院
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院
慶應義塾大学病院
広島大学病院
国際医療福祉大学病院
札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック
北播磨総合医療センター
東邦大学医療センター佐倉病院
社会医療法人財団石心会川崎幸病院
福井大学医学部附属病院
防衛医科大学校病院
青梅市立総合病院
山形大学医学部附属病院
佐賀県医療センター好生館
高知県高知市病院企業団 高知医療センター
石巻赤十字病院

埼玉医科大学総合医療センター
川崎医科大学総合医療センター
独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院
岩手県立中央病院
富山県立中央病院
愛媛大学医学部附属病院
群馬県立心臓血管センター
新潟市民病院
綾瀬循環器病院
岐阜ハートセンター
静岡市立静岡病院
独立行政法人国立病院機構帯広病院
船橋市立医療センター
佐賀大学医学部附属病院
独立行政法人国立病院機構東京医療センター
医療法人春秋会 城山病院
兵庫県立尼崎総合医療センター
西宮渡辺心臓脳・血管センター
地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
山口県済生会下関総合病院
東北医科薬科大学病院
社会医療法人誠光会草津総合病院
独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター
独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター
公立学校共済組合関東中央病院
岐阜大学医学部附属病院
沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院
医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院
高知大学医学部附属病院
加古川中央市民病院
医療法人社団明芳会 イムス葛飾ハートセンター
JA 秋田厚生連由利組合総合病院
徳島赤十字病院
東京医科大学八王子医療センター
福岡赤十字病院
社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
康生会武田病院
神戸市立医療センター中央市民病院
奈良県西和医療センター

福井県立病院
松江赤十字病院
立川メディカルセンター立川総合病院
愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院
JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院
福岡和白病院
心臓血管センター金沢循環器病院
北海道厚生農業協同組合連合会帯広厚生病院
社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院
関西医科大学附属病院
横須賀共済病院
独立行政法人国立病院機構災害医療センター
順天堂大学医学部附属静岡病院
国立病院機構呉医療センター
新潟県立中央病院
東邦大学医療センター大橋病院
財団法人竹田総合病院
医療法人サンプラザ新札幌循環器病院
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター
医療法人社団水光会宗像水光会総合病院
JA 長野厚生連北信総合病院
名古屋ハートセンター
富山大学附属病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院
三菱京都病院
労働者健康福祉機構山陰労災病院
一般財団法人温知会会津中央病院
特定医療法人財団竹政会 福山循環器病院
千葉西総合病院
前橋赤十字病院
足利赤十字病院
大阪市立総合医療センター
社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院
群馬大学医学部附属病院
千葉大学医学部附属病院
仙台市医療センター仙台オープン病院
東京都健康長寿医療センター
獨協医科大学埼玉医療センター

日本赤十字社和歌山医療センター
地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター
武蔵野赤十字病院
島根大学医学部附属病院
総合病院 土浦協同病院
諏訪赤十字病院
公立豊岡病院組合立豊岡病院
千葉市立海浜病院
東京臨海病院
長野赤十字病院
八尾徳洲会総合病院
日本医科大学武蔵小杉病院
医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院
大阪赤十字病院
名古屋第二赤十字病院
埼玉石心会病院
医療法人天神会新古賀病院
滋賀医科大学医学部附属病院
都立多摩総合医療センター
SUBARU 健康保険組合 太田記念病院
平塚市民病院
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院
大津赤十字病院
大阪警察病院
京都岡本記念病院
国家公務員共済組合連合会虎の門病院
静岡県立総合病院
北海道立北見病院
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
西新井ハートセンター病院
医療法人偕行会名古屋共立病院
横浜市立みなと赤十字病院
医療法人徳洲会 松原徳洲会病院
砂川市立病院
公益社団法人地域医療振興協会 市立大村市民病院
独立行政法人地域医療推進機構 徳山中央病院
独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院
市立長浜病院
板橋中央総合病院

香川大学医学部付属病院
NTT 東日本関東病院
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
成田赤十字病院
医療法人 筑波記念会 筑波記念病院
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院
社会医療法人財団 新行橋病院
横浜市立市民病院
高松赤十字病院
愛媛県立新居浜病院
医療法人藤井会 石切生喜病院
済生会山口総合病院
日立製作所日立総合病院
独立行政法人国立病院機構 埼玉病院
富山赤十字病院
仙台循環器病センター
兵庫県立淡路医療センター
南部徳洲会病院
米沢市立病院
藤沢市民病院
医療法人 道心会 埼玉東部循環器病院
藤枝市立総合病院
県立宮崎病院
社会医療法人敬愛会 中頭病院
宮崎市郡医師会病院
名古屋市立東部医療センター
牧港中央病院
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
ツカザキ病院
広島県厚生農業協同組合連合会 JA 広島総合病院
八戸市立市民病院
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
平塚共済病院
紀南病院
山梨県立中央病院
松本協立病院
社会医療法人愛仁会 高槻病院
国保直営総合病院 君津中央病院
沖縄徳洲会 葉山ハートセンター

岐阜市民病院
名古屋市立大学病院
地方独立行政法人佐世保市総合医療センター
医療法人社団 公仁会 大和成和病院
町田市民病院
茨城県立中央病院
医仁会 武田総合病院
医療法人社団緑成会 横浜総合病院
東京都立墨東病院
自衛隊中央病院
舞鶴共済病院
医療法人財団 明理会 明理会中央総合病院
大崎市民病院
独立行政法人国立病院機構京都医療センター
岡村記念病院
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
岡山赤十字病院
社会医療法人 杏嶺会 一宮西病院
聖隷三方原病院
練馬光が丘病院
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
千葉県救急医療センター
枚方公済病院
おおくまセントラル病院
北関東循環器病院
J A長野厚生連 篠ノ井総合病院
日本大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 大阪病院
健貢会 総合東京病院
医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院
国際医療福祉大学 三田病院
イムス富士見総合病院
大阪府済生会中津病院
青森市民病院
沼津市立病院
医療法人社団 千栄会 高瀬クリニック
総合病院国保旭中央病院
国立病院機構 横浜医療センター
新百合ヶ丘総合病院

国立病院機構 千葉医療センター
北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院
茨城西南医療センター病院
湘南厚木病院
近江八幡市立総合医療センター
医療法人財団 荻窪病院
順天堂大学医学部附属浦安病院
社会医療法人 高清会 高井病院
ベルランド総合病院
藤元総合病院
医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院
鹿児島市立病院
国立病院機構 高崎総合医療センター
東京ベイ・浦安市川医療センター
東京女子医科大学八千代医療センター
JR 東京総合病院
吹田徳洲会病院
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
東京都済生会中央病院
【胸部】独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
昭和大学江東豊洲病院
長崎みなとメディカルセンター 市民病院
医療法人社団 昂会 湖東記念病院
大崎病院東京ハートセンター
ニューハート・ワタナベ国際病院
千葉メディカルセンター
名古屋掖済会病院
医療法人社団高邦会 高木病院
医療法人新生会 総合病院高の原中央病院
堺市立総合医療センター
金沢医科大学氷見市民病院
AOI 国際病院
【暫定実施施設】名古屋市立大学病院
社会医療法人 札幌禎心会病院
社会医療法人 天陽会中央病院
大森赤十字病院
新小山市民病院
おおたかの森病院
かわぐち心臓呼吸器病院

医療法人玉心会 鹿嶋ハートクリニック
帝京大学ちば総合医療センター
東海大学医学部附属八王子病院
【胸部暫定実施施設】奈良県総合医療センター
桜橋渡辺病院
医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
高石藤井心臓血管病院
公立昭和病院
飯田市立病院
淀川キリスト教病院
【暫定施設】米盛病院
水戸医療センター
イムス東京葛飾総合病院
医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院
医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院
医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院
【暫定施設】市立東大阪医療センター
【暫定施設】医療法人春林会 華岡青洲記念病院
社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院
医療法人松山ハートセンター よつば循環器科クリニック
【暫定施設】国際医療福祉大学成田病院

## 実施施設一覧

### < 腹部 >

施設名	提出済み
JA 愛知厚生連安城更生病院	
JA 北海道厚生連札幌厚生病院	
KKR 札幌医療センター	
NTT 東日本札幌病院	
いわき市医療センター(いわき市立総合磐城共立病院)	
さいたま市立病院	
さいたま赤十字病院	
愛知医科大学病院	
一宮市立市民病院	
愛媛県立中央病院	
愛媛労災病院	
旭川医科大学病院	
旭川赤十字病院	
杏林大学医学部付属病院	
伊勢崎市民病院	
あかね会土谷総合病院	
医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院	
社会医療法人近森会近森病院	
医療法人敬和会大分岡病院	
医療法人光晴会病院	
医療法人財団明理会 春日部中央総合病院	
社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院	
医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院	
医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院	
社会医療法人 製鉄記念八幡病院	
医療法人社団誠馨会新東京病院	
医療法人澄心会豊橋ハートセンター	
聖マリア病院	
社会医療法人大道会 森之宮病院	
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院	
横浜市立大学附属市民総合医療センター	
王子総合病院	
岡山大学病院	
沖縄県立中部病院	
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院	
地方独立行政法人 下関市立市民病院	
関西医科大学総合医療センター	

岸和田徳洲会病院	
岐阜県立多治見病院	
医療法人五星会菊名記念病院	
久留米大学病院	
宮崎県立延岡病院	
宮崎大学医学部附属病院	
社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	
京都大学医学部附属病院	
京都第一赤十字病院	
京都第二赤十字病院	
京都府立医科大学附属病院	
近畿大学医学部奈良病院	
近畿大学医学部附属病院	
金沢医科大学病院	
金沢大学附属病院	
JCHO 九州病院	
九州大学病院	
熊本赤十字病院	
熊本大学医学部附属病院	
浜松医療センター	
県立広島病院	
医療法人社団東光会戸田中央総合病院	
奈良県立医科大学附属病院	
公立陶生病院	
広島市立安佐市民病院	
広島市立広島市民病院	
弘前大学医学部附属病院	
香川県立中央病院	
国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	
国家公務員共済組合連合会熊本中央病院	
国家公務員共済組合連合会呉共済病院	
国家公務員共済組合連合会大手前病院	
独立行政法人国立国際医療研究センター	
国立循環器病研究センター病院	
国立病院機構熊本医療センター	
独立行政法人国立病院機構長良医療センター	
佐久総合病院 佐久医療センター	
済生会横浜市南部病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院	
済生会新潟第二病院	

財団法人永頼会松山市民病院	
一般財団法人厚生会仙台厚生病院	
一般財団法人 住友病院	
公益財団法人心臓血管研究所付属病院	
財団法人星総合病院	
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	
太田西ノ内病院	
一般財団法人大原記念財団大原総合病院	
公益財団法人天理よろづ相談所病院	
財団法人田附興風会医学研究所北野病院	
公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院	
総合南東北病院	
鳴海病院	
埼玉医科大学国際医療センター	
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	
札幌医科大学附属病院	
札幌東徳洲会病院	
三重大学医学部附属病院	
三豊総合病院	
山形県立中央病院	
山口県立総合医療センター	
山口大学医学部附属病院	
伊勢赤十字病院	
山梨大学医学部附属病院	
市立旭川病院	
市立釧路総合病院	
市立札幌病院	
市立四日市病院	
小樽市立病院	
市立函館病院	
市立豊中病院	
社会医療法人財団慈泉会相澤病院	
滋賀県立総合病院	
自治医科大学附属さいたま医療センター	
自治医科大学附属病院	
鹿児島大学病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会唐津病院	
社会福祉法人三井記念病院	
社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院	
小倉記念病院	

社会医療法人愛仁会 明石医療センター	
医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院	
秋田県立循環器・脳脊髄センター	
秋田厚生連 平鹿総合病院	
秋田大学医学部附属病院	
春日井市民病院	
順天堂大学医学部附属順天堂医院	
小牧市民病院	
昭和大学病院	
昭和大学藤が丘病院	
松山赤十字病院	
沼田脳神経外科循環器科病院	
信州大学医学部附属病院	
社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院	
心臓病センター榊原病院	
新潟県立新発田病院	
新潟大学医歯学総合病院	
製鉄記念室蘭病院	
神戸赤十字病院	
神戸大学医学部附属病院	
神奈川県立循環器呼吸器病センター	
水戸済生会総合病院	
水戸赤十字病院	
聖マリアナ医科大学病院	
聖隷浜松病院	
聖路加国際病院	
青森県立中央病院	
静岡済生会総合病院	
静岡赤十字病院	
千葉県循環器病センター	
川崎医科大学附属病院	
川崎市立川崎病院	
総合大雄会病院	
大垣市民病院	
大阪医科大学附属病院	
大阪市立大学医学部附属病院	
大阪大学医学部附属病院	
大阪府三島救命救急センター	
大阪急性期・総合医療センター	
大崎病院東京ハートセンター	
大分大学医学部附属病院	

医療法人社団松和会 池上総合病院	
筑波メディカルセンター病院	
筑波大学附属病院	
独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院	
中通総合病院	
長岡赤十字病院	
長崎大学病院	
長野医療生活協同組合長野中央病院	
鳥取県立厚生病院	
鳥取県立中央病院	
鳥取大学医学部附属病院	
津山中央病院	
帝京大学医学部附属病院	
鳥根県立中央病院	
東海大学医学部付属病院	
東京医科歯科大学医学部附属病院	
東京医科大学病院	
東京歯科大学市川総合病院	
東京慈恵会医科大学附属病院	
東京女子医科大学東医療センター	
東京女子医科大学病院	
東京大学医学部附属病院	
東京都立広尾病院	
東大和病院	
東宝塚さとう病院	
東邦大学医療センター大森病院	
東北大学病院	
藤田医科大学病院	
徳島県立中央病院	
徳島大学病院	
社会医療法人北海道循環器病院	
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター	
独立行政法人国立病院機構岩国医療センター	
独立行政法人国立病院機構金沢医療センター	
独立行政法人国立病院機構九州医療センター	
独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター	
独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター	
独立行政法人国立病院機構静岡医療センター	
四国こどもとおとなの医療センター	
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	
独立行政法人国立病院機構浜田医療センター	

独立行政法人国立病院機構北海道医療センター	
独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院	
【腹部】独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院	
独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院	
独立行政法人労働者健康福祉機構神戸労災病院	
栃木県済生会宇都宮病院	
日本医科大学千葉北総病院	
日本医科大学付属病院	
日本大学医学部附属板橋病院	
半田市立半田病院	
飯塚病院	
浜松医科大学医学部附属病院	
福井心臓血圧センター福井循環器病院	
福岡県済生会福岡総合病院	
福岡大学病院	
福岡徳洲会病院	
福山市民病院	
福島県立医科大学附属病院	
福島県立会津総合病院	
福島赤十字病院	
兵庫医科大学病院	
兵庫県立姫路循環器病センター	
北海道大学病院	
北里大学病院	
名寄市立総合病院	
名古屋大学医学部附属病院	
名古屋第一赤十字病院	
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院	
洛和会音羽病院	
琉球大学医学部附属病院	
和歌山県立医科大学附属病院	
獨協医科大学病院	
横浜市立大学附属病院	
岡崎市民病院	
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	
慶應義塾大学病院	
広島大学病院	
国際医療福祉大学病院	
佐世保共済病院	
札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック	
北播磨総合医療センター	

地方独立行政法人大牟田市立病院	
東邦大学医療センター佐倉病院	
社会医療法人財団石心会川崎幸病院	
社会医療法人社団カレスサッポロ北光記念病院	
福井大学医学部附属病院	
福岡市民病院	
平心会須賀川病院	
防衛医科大学校病院	
青梅市立総合病院	
山形大学医学部附属病院	
佐賀県医療センター好生館	
高知県高知市病院企業団 高知医療センター	
石巻赤十字病院	
埼玉医科大学総合医療センター	
川崎医科大学総合医療センター	
独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	
医療法人社団明芳会新葛飾病院	
岩手県立中央病院	
富山県立中央病院	
愛媛大学医学部附属病院	
群馬県立心臓血管センター	
新潟市民病院	
綾瀬循環器病院	
岐阜ハートセンター	
静岡市立静岡病院	
独立行政法人国立病院機構帯広病院	
船橋市立医療センター	
佐賀大学医学部附属病院	
独立行政法人国立病院機構東京医療センター	
医療法人春秋会 城山病院	
兵庫県立尼崎総合医療センター	
名古屋医療センター	
西宮渡辺心臓脳・血管センター	
地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	
山口県済生会下関総合病院	
東北医科薬科大学病院	
社会医療法人誠光会草津総合病院	
仙台市立病院	
南和歌山医療センター	
独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター	
独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター	

公立学校共済組合関東中央病院	
岐阜大学医学部附属病院	
沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院	
医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院	
高知大学医学部附属病院	
加古川中央市民病院	
医療法人社団明芳会 イムス葛飾ハートセンター	
JA 秋田厚生連由利組合総合病院	
徳島赤十字病院	
東京医科大学八王子医療センター	
福岡赤十字病院	
社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院	
康生会武田病院	
神戸市立医療センター中央市民病院	
奈良県西和医療センター	
三郷中央総合病院	
福井県立病院	
松江赤十字病院	
立川メディカルセンター立川総合病院	
愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	
医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院	
JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院	
福岡和白病院	
心臓血管センター金沢循環器病院	
済生会八幡総合病院	
北海道厚生農業協同組合連合会帯広厚生病院	
社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院	
関西医科大学附属病院	
医療法人永井病院	
戸塚共立第2病院	
横須賀共済病院	
独立行政法人国立病院機構災害医療センター	
順天堂大学医学部附属静岡病院	
広島赤十字・原爆病院	
国立病院機構呉医療センター	
新潟県立中央病院	
東邦大学医療センター大橋病院	
財団法人竹田総合病院	
市立岸和田市民病院	
医療法人サンプラザ新札幌循環器病院	
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター	

医療法人社団水光会宗像水光会総合病院	
JA 長野厚生連北信総合病院	
名古屋ハートセンター	
富山大学附属病院	
東京慈恵会医科大学附属柏病院	
三菱京都病院	
労働者健康福祉機構山陰労災病院	
一般財団法人温知会会津中央病院	
特定医療法人財団竹政会 福山循環器病院	
千葉西総合病院	
前橋赤十字病院	
足利赤十字病院	
大阪市立総合医療センター	
社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院	
群馬大学医学部附属病院	
千葉大学医学部附属病院	
高知赤十字病院	
仙台市医療センター仙台オープン病院	
東京都健康長寿医療センター	
獨協医科大学埼玉医療センター	
日本赤十字社和歌山医療センター	
地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター	
武蔵野赤十字病院	
島根大学医学部附属病院	
【暫定実施施設】社会福祉法人仁生社江戸川病院	
総合病院 土浦協同病院	
諏訪赤十字病院	
慶友会つくば血管センター	
庄内余目病院	
独立行政法人労働者健康福祉機構青森労災病院	
公立豊岡病院組合立豊岡病院	
千葉市立海浜病院	
東京臨海病院	
長野赤十字病院	
厚生連尾道総合病院	
八尾徳洲会総合病院	
日本医科大学武蔵小杉病院	
大分県立病院	
医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院	
大阪赤十字病院	
名古屋第二赤十字病院	

埼玉石心会病院	
山口労災病院	
医療法人天神会新古賀病院	
滋賀医科大学医学部附属病院	
都立多摩総合医療センター	
SUBARU 健康保険組合 太田記念病院	
平塚市民病院	
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	
大津赤十字病院	
大阪警察病院	
京都岡本記念病院	
国家公務員共済組合連合会虎の門病院	
静岡県立総合病院	
北海道立北見病院	
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	
西新井ハートセンター病院	
医療法人偕行会名古屋共立病院	
医療法人積仁会 島田総合病院	
横浜市立みなと赤十字病院	
医療法人徳洲会 松原徳洲会病院	
砂川市立病院	
公益社団法人地域医療振興協会 市立大村市民病院	
独立行政法人地域医療推進機構 徳山中央病院	
国立病院機構 別府医療センター	
独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院	
獨協医科大学日光医療センター	
医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院	
市立長浜病院	
板橋中央総合病院	
香川大学医学部付属病院	
広島県厚生農業協同組合連合会 JA 広島総合病院	
NTT 東日本関東病院	
所沢明生病院	
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	
成田赤十字病院	
医療法人 筑波記念会 筑波記念病院	
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	
社会医療法人財団 新行橋病院	
横浜市立市民病院	
高松赤十字病院	
財団法人山梨厚生会山梨厚生病院	

愛媛県立新居浜病院	
医療法人藤井会 石切生喜病院	
済生会山口総合病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院	
市立宇和島病院	
日立製作所日立総合病院	
独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	
富山赤十字病院	
仙台循環器病センター	
市立敦賀病院	
兵庫県立淡路医療センター	
南部徳洲会病院	
米沢市立病院	
藤沢市民病院	
医療法人 道心会 埼玉東部循環器病院	
藤枝市立総合病院	
県立宮崎病院	
社会医療法人敬愛会 中頭病院	
宮崎市郡医師会病院	
愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院	
大津市民病院	
名古屋市立東部医療センター	
大阪国際がんセンター	
牧港中央病院	
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	
ツカザキ病院	
八戸市立市民病院	
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	
平塚共済病院	
紀南病院	
国家公務員共済組合連合会 新別府病院	
山梨県立中央病院	
松本協立病院	
社会医療法人愛仁会 高槻病院	
国保直営総合病院 君津中央病院	
沖縄徳洲会 葉山ハートセンター	
岐阜市民病院	
名古屋市立大学病院	
地方独立行政法人佐世保市総合医療センター	
苑田第一病院	
公立南丹病院	

医療法人社団 公仁会 大和成和病院	
北海道社会保険病院	
社会医療法人真泉会 今治第一病院	
藤元総合病院〔腹部〕	
町田市民病院	
茨城県立中央病院	
医仁会 武田総合病院	
医療法人社団緑成会 横浜総合病院	
東京都立墨東病院	
自衛隊中央病院	
社会医療法人 北斗 北斗病院	
舞鶴共済病院	
石川県立中央病院	
医療法人財団 明理会 明理会中央総合病院	
大崎市民病院	
医療法人社団 圭春会 小張総合病院	
独立行政法人国立病院機構京都医療センター	
岡村記念病院	
医療法人社団 岡波総合病院	
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	
岡山赤十字病院	
社会医療法人 杏嶺会 一宮西病院	
聖隷三方原病院	
練馬光が丘病院	
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院	
千葉県救急医療センター	
枚方公済病院	
おおくまセントラル病院	
北関東循環器病院	
独立行政法人労働者健康福祉機構浜松労災病院	
J A長野厚生連 篠ノ井総合病院	
日本大学病院	
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院	
独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 大阪病院	
健貢会 総合東京病院	
医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院	
国際医療福祉大学 三田病院	
独立行政法人労働者健康福祉機構 関東労災病院	
イムス富士見総合病院	
大阪府済生会中津病院	
青森市民病院	

沼津市立病院	
医療法人社団 千栄会 高瀬クリニック	
総合病院国保旭中央病院	
国立病院機構 横浜医療センター	
新百合ヶ丘総合病院	
国立病院機構 千葉医療センター	
北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院	
茨城西南医療センター病院	
湘南厚木病院	
近江八幡市立総合医療センター	
医療法人財団 荻窪病院	
河北総合病院	
順天堂大学医学部附属浦安病院	
社会医療法人 高清会 高井病院	
ベルランド総合病院	
医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院	
桐生厚生総合病院	
鹿児島市立病院	
【暫定実施施設】鎌ヶ谷総合病院	
国立病院機構 高崎総合医療センター	
東京ベイ・浦安市川医療センター	
東京女子医科大学八千代医療センター	
一般財団法人医療・介護・教育研究財団 柳川病院	
JR 東京総合病院	
吹田徳洲会病院	
【暫定施設】東京都保健医療公社 大久保病院	
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	
草加市立病院	
東京都済生会中央病院	
昭和大学江東豊洲病院	
医療法人社団日高会 日高病院	
国立病院機構 福岡東医療センター	
公立置賜総合病院	
赤穂市民病院	
長崎みなとメディカルセンター 市民病院	
富山市立富山市民病院	
弘前中央病院	
医療法人社団 昂会 湖東記念病院	
大崎病院東京ハートセンター	
ニューハート・ワタナベ国際病院	
千葉メディカルセンター	

名古屋掖済会病院	
医療法人社団高邦会 高木病院	
医療法人新生会 総合病院高の原中央病院	
厚木市立病院	
新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院	
堺市立総合医療センター	
金沢医科大学氷見市民病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会和歌山病院	
福岡県済生会二日市病院	
AOI 国際病院	
社会医療法人 札幌禎心会病院	
社会医療法人 天陽会中央病院	
大森赤十字病院	
新小山市民病院	
おおたかの森病院	
日本赤十字社姫路赤十字病院	
医療法人邦友会 小田原循環器病院	
かわぐち心臓呼吸器病院	
医療法人玉心会 鹿嶋ハートクリニック	
帝京大学ちば総合医療センター	
柏厚生総合病院	
東海大学医学部附属八王子病院	
【胸部暫定実施施設】奈良県総合医療センター	
医療法人元生会 森山病院	
桜橋渡辺病院	
医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院	
ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	
公立昭和病院	
医療法人福富士会 京都ルネス病院	
飯田市立病院	
淀川キリスト教病院	
【暫定施設】米盛病院	
【暫定施設】小笠原記念札幌病院	
国立病院機構 函館病院	
水戸医療センター	
斗南病院	
イムス東京葛飾総合病院	
医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院	
医療法人 三重ハートセンター	
医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院	
社会医療法人 大成会 福岡記念病院	

岩手県立胆沢病院	
【暫定実施施設】高岡市民病院	
【暫定実施施設】山王台病院	
【暫定施設】さくら血管病クリニック	
関西電力病院	
【暫定実施施設】東京品川病院	
羽生総合病院	
富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院	
豊橋市民病院	
医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院	
日本生命済生会 日本生命病院	
深谷赤十字病院	
【暫定施設】社会医療法人厚生会 木沢記念病院	
【暫定施設】東濃厚生病院	
松戸市総合医療センター	
【暫定施設】公立学校共済組合九州中央病院	
【暫定施設】市立東大阪医療センター	
【暫定施設】独立行政法人国立病院機構関門医療センター	
【暫定施設】藤田医科大学 ばんたね病院	
【暫定施設】医療法人春林会 華岡青洲記念病院	
昭和大学横浜市北部病院	
医療法人松山ハートセンター よつば循環器科クリニック	
【暫定施設】医療法人前橋会 高崎ハートホスピタル	
【暫定施設】国際医療福祉大学成田病院	
日本赤十字社医療センター	

< 胸部 >

施設名	提出済み
JA 愛知厚生連安城更生病院	
KKR 札幌医療センター	
NTT 東日本札幌病院	
いわき市医療センター(いわき市立総合磐城共立病院)	
さいたま市立病院	
さいたま赤十字病院	
愛知医科大学病院	
一宮市立市民病院	
愛媛県立中央病院	
旭川医科大学病院	
旭川赤十字病院	
杏林大学医学部付属病院	
伊勢崎市民病院	

あかね会土谷総合病院	
医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院	
社会医療法人近森会近森病院	
医療法人敬和会大分岡病院	
医療法人光晴会病院	
医療法人財団明理会 春日部中央総合病院	
社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院	
医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院	
医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院	
医療法人社団誠馨会新東京病院	
医療法人澄心会豊橋ハートセンター	
聖マリア病院	
社会医療法人大道会 森之宮病院	
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院	
横浜市立大学附属市民総合医療センター	
王子総合病院	
岡山大学病院	
沖繩県立中部病院	
沖繩県立南部医療センター・こども医療センター	
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院	
地方独立行政法人 下関市立市民病院	
関西医科大学総合医療センター	
岸和田徳洲会病院	
岐阜県立多治見病院	
医療法人五星会菊名記念病院	
久留米大学病院	
宮崎県立延岡病院	
宮崎大学医学部附属病院	
社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	
京都大学医学部附属病院	
京都第一赤十字病院	
京都第二赤十字病院	
京都府立医科大学附属病院	
近畿大学医学部奈良病院	
近畿大学医学部附属病院	
金沢医科大学病院	
金沢大学附属病院	
JCHO 九州病院	
九州大学病院	
熊本赤十字病院	
熊本大学医学部附属病院	

浜松医療センター	
県立広島病院	
医療法人社団東光会戸田中央総合病院	
奈良県立医科大学附属病院	
広島市立安佐市民病院	
広島市立広島市民病院	
弘前大学医学部附属病院	
香川県立中央病院	
国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	
国家公務員共済組合連合会熊本中央病院	
独立行政法人国立国際医療研究センター	
国立循環器病研究センター病院	
国立病院機構熊本医療センター	
独立行政法人国立病院機構長良医療センター	
佐久総合病院 佐久医療センター	
済生会横浜市南部病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院	
済生会新潟第二病院	
財団法人永頼会松山市民病院	
一般財団法人厚生会仙台厚生病院	
一般財団法人 住友病院	
公益財団法人心臓血管研究所附属病院	
財団法人星総合病院	
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	
太田西ノ内病院	
公益財団法人天理よろづ相談所病院	
財団法人田附興風会医学研究所北野病院	
公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院	
総合南東北病院	
埼玉医科大学国際医療センター	
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	
札幌医科大学附属病院	
札幌東徳洲会病院	
三重大学医学部附属病院	
三豊総合病院	
山形県立中央病院	
山口県立総合医療センター	
山口大学医学部附属病院	
伊勢赤十字病院	
山梨大学医学部附属病院	

市立旭川病院	
市立釧路総合病院	
市立札幌病院	
市立四日市病院	
小樽市立病院	
市立函館病院	
社会医療法人財団慈泉会相澤病院	
滋賀県立総合病院	
自治医科大学附属さいたま医療センター	
自治医科大学附属病院	
鹿児島大学病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院	
社会福祉法人三井記念病院	
社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院	
小倉記念病院	
社会医療法人愛仁会 明石医療センター	
医療法人渓仁会 手稻渓仁会病院	
秋田厚生連 平鹿総合病院	
秋田大学医学部附属病院	
順天堂大学医学部附属順天堂医院	
小牧市民病院	
昭和大学病院	
昭和大学藤が丘病院	
松山赤十字病院	
沼田脳神経外科循環器科病院	
信州大学医学部附属病院	
社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院	
心臓病センター榊原病院	
新潟県立新発田病院	
新潟大学医歯学総合病院	
製鉄記念室蘭病院	
神戸赤十字病院	
神戸大学医学部附属病院	
神奈川県立循環器呼吸器病センター	
水戸済生会総合病院	
聖マリアンナ医科大学病院	
聖隷浜松病院	
聖路加国際病院	
青森県立中央病院	
静岡赤十字病院	
千葉県循環器病センター	

川崎医科大学附属病院	
川崎市立川崎病院	
総合大雄会病院	
大垣市民病院	
大阪医科大学附属病院	
大阪市立大学医学部附属病院	
大阪大学医学部附属病院	
大阪府三島救命救急センター	
大阪急性期・総合医療センター	
大分大学医学部附属病院	
医療法人社団松和会 池上総合病院	
筑波メディカルセンター病院	
筑波大学附属病院	
中通総合病院	
長岡赤十字病院	
長崎大学病院	
長野医療生活協同組合長野中央病院	
鳥取県立中央病院	
鳥取大学医学部附属病院	
津山中央病院	
帝京大学医学部附属病院	
島根県立中央病院	
東海大学医学部附属病院	
東京医科歯科大学医学部附属病院	
東京医科大学病院	
東京歯科大学市川総合病院	
東京慈恵会医科大学附属病院	
東京女子医科大学東医療センター	
東京女子医科大学病院	
東京大学医学部附属病院	
東京都立広尾病院	
東大和病院	
東宝塚さとう病院	
東邦大学医療センター大森病院	
東北大学病院	
藤田医科大学病院	
徳島県立中央病院	
徳島大学病院	
社会医療法人北海道循環器病院	
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター	
独立行政法人国立病院機構岩国医療センター	

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター	
独立行政法人国立病院機構九州医療センター	
独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター	
独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター	
独立行政法人国立病院機構静岡医療センター	
四国こどもとおとなの医療センター	
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	
独立行政法人国立病院機構浜田医療センター	
独立行政法人国立病院機構北海道医療センター	
独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院	
独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院	
独立行政法人労働者健康福祉機構神戸労災病院	
栃木県済生会宇都宮病院	
日本医科大学千葉北総病院	
日本医科大学付属病院	
【胸部暫定施設】日本赤十字社医療センター	
日本大学医学部附属板橋病院	
飯塚病院	
浜松医科大学医学部附属病院	
福井心臓血管センター福井循環器病院	
福岡県済生会福岡総合病院	
福岡大学病院	
福岡徳洲会病院	
福山市民病院	
福島県立医科大学附属病院	
兵庫医科大学病院	
兵庫県立姫路循環器病センター	
北海道大学病院	
北里大学病院	
名寄市立総合病院	
名古屋大学医学部附属病院	
名古屋第一赤十字病院	
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院	
洛和会音羽病院	
琉球大学医学部附属病院	
和歌山県立医科大学附属病院	
獨協医科大学病院	
横浜市立大学附属病院	
岡崎市民病院	
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	
慶應義塾大学病院	

広島大学病院	
国際医療福祉大学病院	
札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック	
北播磨総合医療センター	
東邦大学医療センター佐倉病院	
社会医療法人財団石心会川崎幸病院	
福井大学医学部附属病院	
防衛医科大学校病院	
青梅市立総合病院	
山形大学医学部附属病院	
佐賀県医療センター好生館	
高知県高知市病院企業団 高知医療センター	
石巻赤十字病院	
埼玉医科大学総合医療センター	
川崎医科大学総合医療センター	
独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	
岩手県立中央病院	
富山県立中央病院	
愛媛大学医学部附属病院	
群馬県立心臓血管センター	
新潟市民病院	
綾瀬循環器病院	
岐阜ハートセンター	
静岡市立静岡病院	
独立行政法人国立病院機構帯広病院	
船橋市立医療センター	
佐賀大学医学部附属病院	
独立行政法人国立病院機構東京医療センター	
医療法人春秋会 城山病院	
兵庫県立尼崎総合医療センター	
西宮渡辺心臓脳・血管センター	
地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	
山口県済生会下関総合病院	
東北医科薬科大学病院	
社会医療法人誠光会草津総合病院	
独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター	
独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター	
公立学校共済組合関東中央病院	
岐阜大学医学部附属病院	
沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院	
医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院	

高知大学医学部附属病院	
加古川中央市民病院	
医療法人社団明芳会 イムス葛飾ハートセンター	
JA 秋田厚生連由利組合総合病院	
徳島赤十字病院	
東京医科大学八王子医療センター	
福岡赤十字病院	
社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院	
康生会武田病院	
神戸市立医療センター中央市民病院	
奈良県西和医療センター	
福井県立病院	
松江赤十字病院	
立川メディカルセンター立川総合病院	
愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	
医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院	
JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院	
福岡和白病院	
心臓血管センター金沢循環器病院	
北海道厚生農業協同組合連合会帯広厚生病院	
社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院	
関西医科大学附属病院	
横須賀共済病院	
独立行政法人国立病院機構災害医療センター	
順天堂大学医学部附属静岡病院	
国立病院機構呉医療センター	
新潟県立中央病院	
東邦大学医療センター大橋病院	
財団法人竹田総合病院	
医療法人サンプラザ新札幌循環器病院	
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター	
医療法人社団水光会宗像水光会総合病院	
JA 長野厚生連北信総合病院	
名古屋ハートセンター	
富山大学附属病院	
東京慈恵会医科大学附属柏病院	
三菱京都病院	
労働者健康福祉機構山陰労災病院	
一般財団法人温知会会津中央病院	
特定医療法人財団竹政会 福山循環器病院	
千葉西総合病院	

前橋赤十字病院	
足利赤十字病院	
大阪市立総合医療センター	
社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院	
群馬大学医学部附属病院	
千葉大学医学部附属病院	
仙台市医療センター仙台オープン病院	
東京都健康長寿医療センター	
獨協医科大学埼玉医療センター	
日本赤十字社和歌山医療センター	
地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター	
武蔵野赤十字病院	
島根大学医学部附属病院	
総合病院 土浦協同病院	
諏訪赤十字病院	
公立豊岡病院組合立豊岡病院	
千葉市立海浜病院	
東京臨海病院	
長野赤十字病院	
八尾徳洲会総合病院	
日本医科大学武蔵小杉病院	
医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院	
大阪赤十字病院	
名古屋第二赤十字病院	
埼玉石心会病院	
医療法人天神会新古賀病院	
滋賀医科大学医学部附属病院	
都立多摩総合医療センター	
SUBARU 健康保険組合 太田記念病院	
平塚市民病院	
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	
大津赤十字病院	
大阪警察病院	
京都岡本記念病院	
国家公務員共済組合連合会虎の門病院	
静岡県立総合病院	
北海道立北見病院	
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	
西新井ハートセンター病院	
医療法人偕行会名古屋共立病院	
横浜市立みなと赤十字病院	

医療法人徳洲会 松原徳洲会病院	
砂川市立病院	
公益社団法人地域医療振興協会 市立大村市民病院	
独立行政法人地域医療推進機構 徳山中央病院	
独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院	
市立長浜病院	
板橋中央総合病院	
香川大学医学部附属病院	
NTT 東日本関東病院	
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	
成田赤十字病院	
医療法人 筑波記念会 筑波記念病院	
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	
社会医療法人財団 新行橋病院	
横浜市立市民病院	
高松赤十字病院	
愛媛県立新居浜病院	
医療法人藤井会 石切生喜病院	
済生会山口総合病院	
日立製作所日立総合病院	
独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	
富山赤十字病院	
仙台循環器病センター	
兵庫県立淡路医療センター	
南部徳洲会病院	
米沢市立病院	
藤沢市民病院	
医療法人 道心会 埼玉東部循環器病院	
藤枝市立総合病院	
県立宮崎病院	
社会医療法人敬愛会 中頭病院	
宮崎市郡医師会病院	
名古屋市立東部医療センター	
牧港中央病院	
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	
ツカザキ病院	
広島県厚生農業協同組合連合会 JA 広島総合病院	
八戸市立市民病院	
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	
平塚共済病院	
紀南病院	

山梨県立中央病院	
松本協立病院	
社会医療法人愛仁会 高槻病院	
国保直営総合病院 君津中央病院	
沖縄徳洲会 葉山ハートセンター	
岐阜市民病院	
名古屋市立大学病院	
地方独立行政法人佐世保市総合医療センター	
医療法人社団 公仁会 大和成和病院	
町田市民病院	
茨城県立中央病院	
医仁会 武田総合病院	
医療法人社団緑成会 横浜総合病院	
東京都立墨東病院	
自衛隊中央病院	
舞鶴共済病院	
医療法人財団 明理会 明理会中央総合病院	
大崎市民病院	
独立行政法人国立病院機構京都医療センター	
岡村記念病院	
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	
岡山赤十字病院	
社会医療法人 杏嶺会 一宮西病院	
聖隷三方原病院	
練馬光が丘病院	
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院	
千葉県救急医療センター	
枚方公済病院	
おおくまセントラル病院	
北関東循環器病院	
J A長野厚生連 篠ノ井総合病院	
日本大学病院	
独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 大阪病院	
健貢会 総合東京病院	
医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院	
国際医療福祉大学 三田病院	
イムス富士見総合病院	
大阪府済生会中津病院	
青森市民病院	
沼津市立病院	
医療法人社団 千栄会 高瀬クリニック	

総合病院国保旭中央病院	
国立病院機構 横浜医療センター	
新百合ヶ丘総合病院	
国立病院機構 千葉医療センター	
北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院	
茨城西南医療センター病院	
湘南厚木病院	
近江八幡市立総合医療センター	
医療法人財団 荻窪病院	
順天堂大学医学部附属浦安病院	
社会医療法人 高清会 高井病院	
ベルランド総合病院	
藤元総合病院	
医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院	
鹿児島市立病院	
国立病院機構 高崎総合医療センター	
東京ベイ・浦安市川医療センター	
東京女子医科大学八千代医療センター	
JR 東京総合病院	
吹田徳洲会病院	
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	
東京都済生会中央病院	
【胸部】独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院	
昭和大学江東豊洲病院	
長崎みなとメディカルセンター 市民病院	
医療法人社団 昂会 湖東記念病院	
大崎病院東京ハートセンター	
ニューハート・ワタナベ国際病院	
千葉メディカルセンター	
名古屋掖済会病院	
医療法人社団高邦会 高木病院	
医療法人新生会 総合病院高の原中央病院	
堺市立総合医療センター	
金沢医科大学氷見市民病院	
AOI 国際病院	
【暫定実施施設】名古屋市立大学病院	
社会医療法人 札幌禎心会病院	
社会医療法人 天陽会中央病院	
大森赤十字病院	
新小山市民病院	
おおたかの森病院	

かわぐち心臓呼吸器病院	
医療法人玉心会 鹿嶋ハートクリニック	
帝京大学ちば総合医療センター	
東海大学医学部附属八王子病院	
【胸部暫定実施施設】奈良県総合医療センター	
桜橋渡辺病院	
医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院	
高石藤井心臓血管病院	
公立昭和病院	
飯田市立病院	
淀川キリスト教病院	
【暫定施設】米盛病院	
水戸医療センター	
イムス東京葛飾総合病院	
医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院	
医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院	
医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院	
【暫定施設】市立東大阪医療センター	
【暫定施設】医療法人春林会 華岡青洲記念病院	
社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院	
医療法人松山ハートセンター よつば循環器科クリニック	
【暫定施設】国際医療福祉大学成田病院	



そして10年以上の長期間にわたる十分な追跡調査の実績がないため、治療後も引き続いて定期的に経過を見ていく必要があります。集計されたデータを分析したうえでその結果を論文等で報告することで、それを参考により安全で質の高いステントグラフト治療が行われることが期待されます。

#### 【研究の目的】

大動脈瘤に対する治療法として開発されたステントグラフト内挿術の歴史は未だ浅く、とくに長期間にわたる治療効果については十分明らかにされていません。本追跡調査は、ステントグラフト治療を受けた患者さんの治療前より治療後長期にわたる治療データを収集分析することにより、この治療法の安全性の確立と質の向上をはかることを目的としています。

#### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、〇〇病院の施設長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

これらの診療情報は、だれのものかわからないようにした(匿名化といいます)状態で登録されます。そのデータは管理委員会およびNCD(National Clinical Database)という外科系レジストリーで保管・管理されます。研究にあたってはテーマに応じて必要なデータを抽出して解析されます。(様々な研究計画が各施設から委員会の公募に対して申請され、その際に必要なデータのみ渡されて解析されます)

本研究には、日本ステントグラフト実施基準管理委員会による認定に合格した施設(2019年12月現在 867施設)が参加予定です。

#### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データは、各施設の研究担当者(レジストリー入力者)によってレジストリーに登録されます。登録時には氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものかわからないようにした上で、当研究室において\*\*\* (管理責任者)が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分(あるいはご家族)のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで治療実施後3か月以内にご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので

下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、日本ステントグラフト実施基準管理委員会から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

20\*\*年\*月

**【問い合わせ先】**

■ ○○病院

(住所)

(研究担当者)

■ 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 事務局

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル

(株)コンベンションリンケージ内

FAX : 03-3263-8687

E-mail : [stentgraft@secretariat.ne.jp](mailto:stentgraft@secretariat.ne.jp)



ん。本追跡調査は、ステントグラフト治療を受けた患者さんの治療前より治療後長期にわたる治療データを収集分析することにより、この治療法の安全性の確立と質の向上をはかることを目的としています。

#### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、日本ステントグラフト実施基準管理委員会委員長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。これらの診療情報は、だれのものかわからないようにした(匿名化といいます)状態で登録されます。そのデータは管理委員会およびNCD(National Clinical Database)という外科系レジストリーで保管・管理されます。研究にあたってはテーマに応じて必要なデータを抽出して解析されます。(様々な研究計画が各施設から委員会の公募に対して申請され、その際に必要なデータのみ渡されて解析されます。データはすでに匿名化、といって個人の情報を特定できない状態です。委員会で抽出作業は単純なデータの取り出しとなります。)

#### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データは、各施設の研究担当者(レジストリー入力者)によってレジストリーに登録されます。登録時には氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものかわからないようにした上で、各共同研究機関(実施施設)において管理責任者が、管理責任者のみ知るパスワードなどを用いて厳重に保管します。ただし必要な場合には、各共同研究機関においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分(あるいはご家族)のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで治療実施後3か月以内にご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、日本ステントグラフト実施基準管理委員会から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

20\*\*年\*月

【問い合わせ先】

日本ステントグラフト実施基準管理委員会 事務局  
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル  
(株)コンベンションリンケージ内  
FAX : 03-3263-8687  
E-mail : [stentgraft@secretariat.ne.jp](mailto:stentgraft@secretariat.ne.jp)

(参考)

【研究参加施設一覧】

<腹部>

JA 愛知厚生連安城更生病院
JA 北海道厚生連札幌厚生病院
KKR 札幌医療センター
NTT 東日本札幌病院
いわき市医療センター(いわき市立総合磐城共立病院)
さいたま市立病院
さいたま赤十字病院
愛知医科大学病院
一宮市立市民病院
愛媛県立中央病院
愛媛労災病院
旭川医科大学病院
旭川赤十字病院
杏林大学医学部付属病院
伊勢崎市民病院
あかね会土谷総合病院
医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院
社会医療法人近森会近森病院
医療法人敬和会大分岡病院
医療法人光晴会病院
医療法人財団明理会 春日部中央総合病院
社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院
医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院
医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院
社会医療法人 製鉄記念八幡病院
医療法人社団誠馨会新東京病院
医療法人澄心会豊橋ハートセンター
聖マリア病院
社会医療法人大道会 森之宮病院
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター

王子総合病院
岡山大学病院
沖縄県立中部病院
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院
地方独立行政法人 下関市立市民病院
関西医科大学総合医療センター
岸和田徳洲会病院
岐阜県立多治見病院
医療法人五星会菊名記念病院
久留米大学病院
宮崎県立延岡病院
宮崎大学医学部附属病院
社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院
京都大学医学部附属病院
京都第一赤十字病院
京都第二赤十字病院
京都府立医科大学附属病院
近畿大学医学部奈良病院
近畿大学医学部附属病院
金沢医科大学病院
金沢大学附属病院
JCHO 九州病院
九州大学病院
熊本赤十字病院
熊本大学医学部附属病院
浜松医療センター
県立広島病院
医療法人社団東光会戸田中央総合病院
奈良県立医科大学附属病院
公立陶生病院
広島市立安佐市民病院
広島市立広島市民病院
弘前大学医学部附属病院
香川県立中央病院
国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
国家公務員共済組合連合会熊本中央病院
国家公務員共済組合連合会呉共済病院
国家公務員共済組合連合会大手前病院
独立行政法人国立国際医療研究センター
国立循環器病研究センター病院
国立病院機構熊本医療センター

独立行政法人国立病院機構長良医療センター
佐久総合病院 佐久医療センター
済生会横浜市南部病院
社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院
社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院
済生会新潟第二病院
財団法人永頼会松山市民病院
一般財団法人厚生会仙台厚生病院
一般財団法人 住友病院
公益財団法人心臓血管研究所付属病院
財団法人星総合病院
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
太田西ノ内病院
一般財団法人大原記念財団大原総合病院
公益財団法人天理よろづ相談所病院
財団法人田附興風会医学研究所北野病院
公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院
総合南東北病院
鳴海病院
埼玉医科大学国際医療センター
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
札幌医科大学附属病院
札幌東徳洲会病院
三重大学医学部附属病院
三豊総合病院
山形県立中央病院
山口県立総合医療センター
山口大学医学部附属病院
伊勢赤十字病院
山梨大学医学部附属病院
市立旭川病院
市立釧路総合病院
市立札幌病院
市立四日市病院
小樽市立病院
市立函館病院
市立豊中病院
社会医療法人財団慈泉会相澤病院
滋賀県立総合病院
自治医科大学附属さいたま医療センター
自治医科大学附属病院
鹿児島大学病院

社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
社会福祉法人恩賜財団済生会唐津病院
社会福祉法人三井記念病院
社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院
小倉記念病院
社会医療法人愛仁会 明石医療センター
医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院
秋田県立循環器・脳脊髄センター
秋田厚生連 平鹿総合病院
秋田大学医学部附属病院
春日井市民病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院
小牧市民病院
昭和大学病院
昭和大学藤が丘病院
松山赤十字病院
沼田脳神経外科循環器科病院
信州大学医学部附属病院
社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院
心臓病センター榊原病院
新潟県立新発田病院
新潟大学医歯学総合病院
製鉄記念室蘭病院
神戸赤十字病院
神戸大学医学部附属病院
神奈川県立循環器呼吸器病センター
水戸済生会総合病院
水戸赤十字病院
聖マリアンナ医科大学病院
聖隷浜松病院
聖路加国際病院
青森県立中央病院
静岡済生会総合病院
静岡赤十字病院
千葉県循環器病センター
川崎医科大学附属病院
川崎市立川崎病院
総合大雄会病院
大垣市民病院
大阪医科大学附属病院
大阪市立大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院

大阪府三島救命救急センター
大阪急性期・総合医療センター
大崎病院東京ハートセンター
大分大学医学部附属病院
医療法人社団松和会 池上総合病院
筑波メディカルセンター病院
筑波大学附属病院
独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院
中通総合病院
長岡赤十字病院
長崎大学病院
長野医療生活協同組合長野中央病院
鳥取県立厚生病院
鳥取県立中央病院
鳥取大学医学部附属病院
津山中央病院
帝京大学医学部附属病院
島根県立中央病院
東海大学医学部附属病院
東京医科歯科大学医学部附属病院
東京医科大学病院
東京歯科大学市川総合病院
東京慈恵会医科大学附属病院
東京女子医科大学東医療センター
東京女子医科大学病院
東京大学医学部附属病院
東京都立広尾病院
東大和病院
東宝塚さとう病院
東邦大学医療センター大森病院
東北大学病院
藤田医科大学病院
徳島県立中央病院
徳島大学病院
社会医療法人北海道循環器病院
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
独立行政法人国立病院機構岩国医療センター
独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
独立行政法人国立病院機構九州医療センター
独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター
独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター
独立行政法人国立病院機構静岡医療センター

四国こどもとおとなの医療センター
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
独立行政法人国立病院機構浜田医療センター
独立行政法人国立病院機構北海道医療センター
独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院
【腹部】独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院
独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院
独立行政法人労働者健康福祉機構神戸労災病院
栃木県済生会宇都宮病院
日本医科大学千葉北総病院
日本医科大学付属病院
日本大学医学部附属板橋病院
半田市立半田病院
飯塚病院
浜松医科大学医学部附属病院
福井心臓血管センター福井循環器病院
福岡県済生会福岡総合病院
福岡大学病院
福岡徳洲会病院
福山市民病院
福島県立医科大学附属病院
福島県立会津総合病院
福島赤十字病院
兵庫医科大学病院
兵庫県立姫路循環器病センター
北海道大学病院
北里大学病院
名寄市立総合病院
名古屋大学医学部附属病院
名古屋第一赤十字病院
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院
洛和会音羽病院
琉球大学医学部附属病院
和歌山県立医科大学附属病院
獨協医科大学病院
横浜市立大学附属病院
岡崎市民病院
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院
慶應義塾大学病院
広島大学病院
国際医療福祉大学病院
佐世保共済病院

札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック
北播磨総合医療センター
地方独立行政法人大牟田市立病院
東邦大学医療センター佐倉病院
社会医療法人財団石心会川崎幸病院
社会医療法人社団カレスサッポロ北光記念病院
福井大学医学部附属病院
福岡市民病院
平心会須賀川病院
防衛医科大学校病院
青梅市立総合病院
山形大学医学部附属病院
佐賀県医療センター好生館
高知県高知市病院企業団 高知医療センター
石巻赤十字病院
埼玉医科大学総合医療センター
川崎医科大学総合医療センター
独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院
医療法人社団明芳会新葛飾病院
岩手県立中央病院
富山県立中央病院
愛媛大学医学部附属病院
群馬県立心臓血管センター
新潟市民病院
綾瀬循環器病院
岐阜ハートセンター
静岡市立静岡病院
独立行政法人国立病院機構帯広病院
船橋市立医療センター
佐賀大学医学部附属病院
独立行政法人国立病院機構東京医療センター
医療法人春秋会 城山病院
兵庫県立尼崎総合医療センター
名古屋医療センター
西宮渡辺心臓脳・血管センター
地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
山口県済生会下関総合病院
東北医科薬科大学病院
社会医療法人誠光会草津総合病院
仙台市立病院
南和歌山医療センター
独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター

独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター
公立学校共済組合関東中央病院
岐阜大学医学部附属病院
沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院
医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院
高知大学医学部附属病院
加古川中央市民病院
医療法人社団明芳会 イムス葛飾ハートセンター
JA 秋田厚生連由利組合総合病院
徳島赤十字病院
東京医科大学八王子医療センター
福岡赤十字病院
社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
康生会武田病院
神戸市立医療センター中央市民病院
奈良県西和医療センター
三郷中央総合病院
福井県立病院
松江赤十字病院
立川メディカルセンター立川総合病院
愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院
JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院
福岡和白病院
心臓血管センター金沢循環器病院
済生会八幡総合病院
北海道厚生農業協同組合連合会帯広厚生病院
社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院
関西医科大学附属病院
医療法人永井病院
戸塚共立第2病院
横須賀共済病院
独立行政法人国立病院機構災害医療センター
順天堂大学医学部附属静岡病院
広島赤十字・原爆病院
国立病院機構呉医療センター
新潟県立中央病院
東邦大学医療センター大橋病院
財団法人竹田総合病院
市立岸和田市民病院
医療法人サンプラザ新札幌循環器病院
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

医療法人社団水光会宗像水光会総合病院
JA 長野厚生連北信総合病院
名古屋ハートセンター
富山大学附属病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院
三菱京都病院
労働者健康福祉機構山陰労災病院
一般財団法人温知会会津中央病院
特定医療法人財団竹政会 福山循環器病院
千葉西総合病院
前橋赤十字病院
足利赤十字病院
大阪市立総合医療センター
社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院
群馬大学医学部附属病院
千葉大学医学部附属病院
高知赤十字病院
仙台市医療センター仙台オープン病院
東京都健康長寿医療センター
獨協医科大学埼玉医療センター
日本赤十字社和歌山医療センター
地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター
武蔵野赤十字病院
島根大学医学部附属病院
【暫定実施施設】社会福祉法人仁生社江戸川病院
総合病院 土浦協同病院
諏訪赤十字病院
慶友会つくば血管センター
庄内余目病院
独立行政法人労働者健康福祉機構青森労災病院
公立豊岡病院組合立豊岡病院
千葉市立海浜病院
東京臨海病院
長野赤十字病院
厚生連尾道総合病院
八尾徳洲会総合病院
日本医科大学武蔵小杉病院
大分県立病院
医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院
大阪赤十字病院
名古屋第二赤十字病院
埼玉石心会病院

山口労災病院
医療法人天神会新古賀病院
滋賀医科大学医学部附属病院
都立多摩総合医療センター
SUBARU 健康保険組合 太田記念病院
平塚市民病院
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院
大津赤十字病院
大阪警察病院
京都岡本記念病院
国家公務員共済組合連合会虎の門病院
静岡県立総合病院
北海道立北見病院
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
西新井ハートセンター病院
医療法人偕行会名古屋共立病院
医療法人積仁会 島田総合病院
横浜市立みなと赤十字病院
医療法人徳洲会 松原徳洲会病院
砂川市立病院
公益社団法人地域医療振興協会 市立大村市民病院
独立行政法人地域医療推進機構 徳山中央病院
国立病院機構 別府医療センター
独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院
獨協医科大学日光医療センター
医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院
市立長浜病院
板橋中央総合病院
香川大学医学部付属病院
広島県厚生農業協同組合連合会 JA 広島総合病院
NTT 東日本関東病院
所沢明生病院
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
成田赤十字病院
医療法人 筑波記念会 筑波記念病院
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院
社会医療法人財団 新行橋病院
横浜市立市民病院
高松赤十字病院
財団法人山梨厚生会山梨厚生病院
愛媛県立新居浜病院
医療法人藤井会 石切生喜病院

濟生会山口総合病院
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院
市立宇和島病院
日立製作所日立総合病院
独立行政法人国立病院機構 埼玉病院
富山赤十字病院
仙台循環器病センター
市立敦賀病院
兵庫県立淡路医療センター
南部徳洲会病院
米沢市立病院
藤沢市民病院
医療法人 道心会 埼玉東部循環器病院
藤枝市立総合病院
県立宮崎病院
社会医療法人敬愛会 中頭病院
宮崎市郡医師会病院
愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院
大津市民病院
名古屋市立東部医療センター
大阪国際がんセンター
牧港中央病院
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
ツカザキ病院
八戸市立市民病院
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
平塚共済病院
紀南病院
国家公務員共済組合連合会 新別府病院
山梨県立中央病院
松本協立病院
社会医療法人愛仁会 高槻病院
国保直営総合病院 君津中央病院
沖縄徳洲会 葉山ハートセンター
岐阜市民病院
名古屋市立大学病院
地方独立行政法人佐世保市総合医療センター
苑田第一病院
公立南丹病院
医療法人社団 公仁会 大和成和病院
北海道社会保険病院
社会医療法人真泉会 今治第一病院

藤元総合病院【腹部】
町田市民病院
茨城県立中央病院
医仁会 武田総合病院
医療法人社団緑成会 横浜総合病院
東京都立墨東病院
自衛隊中央病院
社会医療法人 北斗 北斗病院
舞鶴共済病院
石川県立中央病院
医療法人財団 明理会 明理会中央総合病院
大崎市民病院
医療法人社団 圭春会 小張総合病院
独立行政法人国立病院機構京都医療センター
岡村記念病院
医療法人社団 岡波総合病院
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
岡山赤十字病院
社会医療法人 杏嶺会 一宮西病院
聖隷三方原病院
練馬光が丘病院
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
千葉県救急医療センター
枚方公済病院
おおくまセントラル病院
北関東循環器病院
独立行政法人労働者健康福祉機構浜松労災病院
J A長野厚生連 篠ノ井総合病院
日本大学病院
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院
独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 大阪病院
健貢会 総合東京病院
医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院
国際医療福祉大学 三田病院
独立行政法人労働者健康福祉機構 関東労災病院
イムス富士見総合病院
大阪府済生会中津病院
青森市民病院
沼津市立病院
医療法人社団 千栄会 高瀬クリニック
総合病院国保旭中央病院
国立病院機構 横浜医療センター

新百合ヶ丘総合病院
国立病院機構 千葉医療センター
北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院
茨城西南医療センター病院
湘南厚木病院
近江八幡市立総合医療センター
医療法人財団 荻窪病院
河北総合病院
順天堂大学医学部附属浦安病院
社会医療法人 高清会 高井病院
ベルランド総合病院
医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院
桐生厚生総合病院
鹿児島市立病院
【暫定実施施設】鎌ヶ谷総合病院
国立病院機構 高崎総合医療センター
東京ベイ・浦安市川医療センター
東京女子医科大学八千代医療センター
一般財団法人医療・介護・教育研究財団 柳川病院
JR 東京総合病院
吹田徳洲会病院
【暫定施設】東京都保健医療公社 大久保病院
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
草加市立病院
東京都済生会中央病院
昭和大学江東豊洲病院
医療法人社団日高会 日高病院
国立病院機構 福岡東医療センター
公立置賜総合病院
赤穂市民病院
長崎みなとメディカルセンター 市民病院
富山市立富山市民病院
弘前中央病院
医療法人社団 昴会 湖東記念病院
大崎病院東京ハートセンター
ニューハート・ワタナベ国際病院
千葉メディカルセンター
名古屋掖済会病院
医療法人社団高邦会 高木病院
医療法人新生会 総合病院高の原中央病院
厚木市立病院
新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院

堺市立総合医療センター
金沢医科大学氷見市民病院
社会福祉法人恩賜財団済生会和歌山病院
福岡県済生会二日市病院
AOI 国際病院
社会医療法人 札幌禎心会病院
社会医療法人 天陽会中央病院
大森赤十字病院
新小山市民病院
おおたかの森病院
日本赤十字社姫路赤十字病院
医療法人邦友会 小田原循環器病院
かわぐち心臓呼吸器病院
医療法人玉心会 鹿嶋ハートクリニック
帝京大学ちば総合医療センター
柏厚生総合病院
東海大学医学部付属八王子病院
【胸部暫定実施施設】奈良県総合医療センター
医療法人元生会 森山病院
桜橋渡辺病院
医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院
公立昭和病院
医療法人福富士会 京都ルネス病院
飯田市立病院
淀川キリスト教病院
【暫定施設】米盛病院
【暫定施設】小笠原記念札幌病院
国立病院機構 函館病院
水戸医療センター
斗南病院
イムス東京葛飾総合病院
医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院
医療法人 三重ハートセンター
医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院
社会医療法人 大成会 福岡記念病院
岩手県立胆沢病院
【暫定実施施設】高岡市民病院
【暫定実施施設】山王台病院
【暫定施設】さくら血管病クリニック
関西電力病院
【暫定実施施設】東京品川病院

羽生総合病院
富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院
豊橋市民病院
医療法人沖繩徳洲会 神戸徳洲会病院
日本生命済生会 日本生命病院
深谷赤十字病院
【暫定施設】社会医療法人厚生会 木沢記念病院
【暫定施設】東濃厚生病院
松戸市総合医療センター
【暫定施設】公立学校共済組合九州中央病院
【暫定施設】市立東大阪医療センター
【暫定施設】独立行政法人国立病院機構関門医療センター
【暫定施設】藤田医科大学 ばんだね病院
【暫定施設】医療法人春林会 華岡青洲記念病院
昭和大学横浜市北部病院
医療法人松山ハートセンター よつば循環器科クリニック
【暫定施設】医療法人前橋会 高崎ハートホスピタル
【暫定施設】国際医療福祉大学成田病院
日本赤十字社医療センター

< 胸部 >

JA 愛知厚生連安城更生病院
KKR 札幌医療センター
NTT 東日本札幌病院
いわき市医療センター(いわき市立総合磐城共立病院)
さいたま市立病院
さいたま赤十字病院
愛知医科大学病院
一宮市立市民病院
愛媛県立中央病院
旭川医科大学病院
旭川赤十字病院
杏林大学医学部付属病院
伊勢崎市民病院
あかね会土谷総合病院
医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院
社会医療法人近森会近森病院
医療法人敬和会大分岡病院
医療法人光晴会病院
医療法人財団明理会 春日部中央総合病院
社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院

医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院
医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院
医療法人社団誠馨会新東京病院
医療法人澄心会豊橋ハートセンター
聖マリア病院
社会医療法人大道会 森之宮病院
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
王子総合病院
岡山大学病院
沖縄県立中部病院
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院
地方独立行政法人 下関市立市民病院
関西医科大学総合医療センター
岸和田徳洲会病院
岐阜県立多治見病院
医療法人五星会菊名記念病院
久留米大学病院
宮崎県立延岡病院
宮崎大学医学部附属病院
社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院
京都大学医学部附属病院
京都第一赤十字病院
京都第二赤十字病院
京都府立医科大学附属病院
近畿大学医学部奈良病院
近畿大学医学部附属病院
金沢医科大学病院
金沢大学附属病院
JCHO 九州病院
九州大学病院
熊本赤十字病院
熊本大学医学部附属病院
浜松医療センター
県立広島病院
医療法人社団東光会戸田中央総合病院
奈良県立医科大学附属病院
広島市立安佐市民病院
広島市立広島市民病院
弘前大学医学部附属病院
香川県立中央病院

国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
国家公務員共済組合連合会熊本中央病院
独立行政法人国立国際医療研究センター
国立循環器病研究センター病院
国立病院機構熊本医療センター
独立行政法人国立病院機構長良医療センター
佐久総合病院 佐久医療センター
済生会横浜市南部病院
社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院
社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院
済生会新潟第二病院
財団法人永頼会松山市民病院
一般財団法人厚生会仙台厚生病院
一般財団法人 住友病院
公益財団法人心臓血管研究所付属病院
財団法人星総合病院
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
太田西ノ内病院
公益財団法人天理よろづ相談所病院
財団法人田附興風会医学研究所北野病院
公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院
総合南東北病院
埼玉医科大学国際医療センター
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
札幌医科大学附属病院
札幌東徳洲会病院
三重大学医学部附属病院
三豊総合病院
山形県立中央病院
山口県立総合医療センター
山口大学医学部附属病院
伊勢赤十字病院
山梨大学医学部附属病院
市立旭川病院
市立釧路総合病院
市立札幌病院
市立四日市病院
小樽市立病院
市立函館病院
社会医療法人財団慈泉会相澤病院
滋賀県立総合病院
自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属病院
鹿児島大学病院
社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
社会福祉法人三井記念病院
社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院
小倉記念病院
社会医療法人愛仁会 明石医療センター
医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院
秋田厚生連 平鹿総合病院
秋田大学医学部附属病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院
小牧市民病院
昭和大学病院
昭和大学藤が丘病院
松山赤十字病院
沼田脳神経外科循環器科病院
信州大学医学部附属病院
社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院
心臓病センター榊原病院
新潟県立新発田病院
新潟大学医歯学総合病院
製鉄記念室蘭病院
神戸赤十字病院
神戸大学医学部附属病院
神奈川県立循環器呼吸器病センター
水戸済生会総合病院
聖マリアンナ医科大学病院
聖隷浜松病院
聖路加国際病院
青森県立中央病院
静岡赤十字病院
千葉県循環器病センター
川崎医科大学附属病院
川崎市立川崎病院
総合大雄会病院
大垣市民病院
大阪医科大学附属病院
大阪市立大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院
大阪府三島救命救急センター
大阪急性期・総合医療センター
大分大学医学部附属病院

医療法人社団松和会 池上総合病院
筑波メディカルセンター病院
筑波大学附属病院
中通総合病院
長岡赤十字病院
長崎大学病院
長野医療生活協同組合長野中央病院
鳥取県立中央病院
鳥取大学医学部附属病院
津山中央病院
帝京大学医学部附属病院
島根県立中央病院
東海大学医学部附属病院
東京医科歯科大学医学部附属病院
東京医科大学病院
東京歯科大学市川総合病院
東京慈恵会医科大学附属病院
東京女子医科大学東医療センター
東京女子医科大学病院
東京大学医学部附属病院
東京都立広尾病院
東大和病院
東宝塚さとう病院
東邦大学医療センター大森病院
東北大学病院
藤田医科大学病院
徳島県立中央病院
徳島大学病院
社会医療法人北海道循環器病院
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
独立行政法人国立病院機構岩国医療センター
独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
独立行政法人国立病院機構九州医療センター
独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター
独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター
独立行政法人国立病院機構静岡医療センター
四国こどもとおとなの医療センター
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
独立行政法人国立病院機構浜田医療センター
独立行政法人国立病院機構北海道医療センター
独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院
独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院

独立行政法人労働者健康福祉機構神戸労災病院
栃木県済生会宇都宮病院
日本医科大学千葉北総病院
日本医科大学付属病院
【胸部暫定施設】日本赤十字社医療センター
日本大学医学部附属板橋病院
飯塚病院
浜松医科大学医学部附属病院
福井心臓血管センター福井循環器病院
福岡県済生会福岡総合病院
福岡大学病院
福岡徳洲会病院
福山市民病院
福島県立医科大学附属病院
兵庫医科大学病院
兵庫県立姫路循環器病センター
北海道大学病院
北里大学病院
名寄市立総合病院
名古屋大学医学部附属病院
名古屋第一赤十字病院
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院
洛和会音羽病院
琉球大学医学部附属病院
和歌山県立医科大学附属病院
獨協医科大学病院
横浜市立大学附属病院
岡崎市民病院
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院
慶應義塾大学病院
広島大学病院
国際医療福祉大学病院
札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック
北播磨総合医療センター
東邦大学医療センター佐倉病院
社会医療法人財団石心会川崎幸病院
福井大学医学部附属病院
防衛医科大学校病院
青梅市立総合病院
山形大学医学部附属病院
佐賀県医療センター好生館
高知県高知市病院企業団 高知医療センター

石巻赤十字病院
埼玉医科大学総合医療センター
川崎医科大学総合医療センター
独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院
岩手県立中央病院
富山県立中央病院
愛媛大学医学部附属病院
群馬県立心臓血管センター
新潟市民病院
綾瀬循環器病院
岐阜ハートセンター
静岡市立静岡病院
独立行政法人国立病院機構帯広病院
船橋市立医療センター
佐賀大学医学部附属病院
独立行政法人国立病院機構東京医療センター
医療法人春秋会 城山病院
兵庫県立尼崎総合医療センター
西宮渡辺心臓脳・血管センター
地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
山口県済生会下関総合病院
東北医科薬科大学病院
社会医療法人誠光会草津総合病院
独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター
独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター
公立学校共済組合関東中央病院
岐阜大学医学部附属病院
沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院
医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院
高知大学医学部附属病院
加古川中央市民病院
医療法人社団明芳会 イムス葛飾ハートセンター
JA 秋田厚生連由利組合総合病院
徳島赤十字病院
東京医科大学八王子医療センター
福岡赤十字病院
社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
康生会武田病院
神戸市立医療センター中央市民病院
奈良県西和医療センター
福井県立病院
松江赤十字病院

立川メディカルセンター立川総合病院
愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院
JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院
福岡和白病院
心臓血管センター金沢循環器病院
北海道厚生農業協同組合連合会帯広厚生病院
社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院
関西医科大学附属病院
横須賀共済病院
独立行政法人国立病院機構災害医療センター
順天堂大学医学部附属静岡病院
国立病院機構呉医療センター
新潟県立中央病院
東邦大学医療センター大橋病院
財団法人竹田総合病院
医療法人サンプラザ新札幌循環器病院
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター
医療法人社団水光会宗像水光会総合病院
JA 長野厚生連北信総合病院
名古屋ハートセンター
富山大学附属病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院
三菱京都病院
労働者健康福祉機構山陰労災病院
一般財団法人温知会会津中央病院
特定医療法人財団竹政会 福山循環器病院
千葉西総合病院
前橋赤十字病院
足利赤十字病院
大阪市立総合医療センター
社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院
群馬大学医学部附属病院
千葉大学医学部附属病院
仙台市医療センター仙台オープン病院
東京都健康長寿医療センター
獨協医科大学埼玉医療センター
日本赤十字社和歌山医療センター
地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター
武蔵野赤十字病院
島根大学医学部附属病院
総合病院 土浦協同病院

諏訪赤十字病院
公立豊岡病院組合立豊岡病院
千葉市立海浜病院
東京臨海病院
長野赤十字病院
八尾徳洲会総合病院
日本医科大学武蔵小杉病院
医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院
大阪赤十字病院
名古屋第二赤十字病院
埼玉石心会病院
医療法人天神会新古賀病院
滋賀医科大学医学部附属病院
都立多摩総合医療センター
SUBARU 健康保険組合 太田記念病院
平塚市民病院
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院
大津赤十字病院
大阪警察病院
京都岡本記念病院
国家公務員共済組合連合会虎の門病院
静岡県立総合病院
北海道立北見病院
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
西新井ハートセンター病院
医療法人偕行会名古屋共立病院
横浜市立みなと赤十字病院
医療法人徳洲会 松原徳洲会病院
砂川市立病院
公益社団法人地域医療振興協会 市立大村市民病院
独立行政法人地域医療推進機構 徳山中央病院
独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院
市立長浜病院
板橋中央総合病院
香川大学医学部付属病院
NTT 東日本関東病院
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
成田赤十字病院
医療法人 筑波記念会 筑波記念病院
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院
社会医療法人財団 新行橋病院
横浜市立市民病院

高松赤十字病院
愛媛県立新居浜病院
医療法人藤井会 石切生喜病院
済生会山口総合病院
日立製作所日立総合病院
独立行政法人国立病院機構 埼玉病院
富山赤十字病院
仙台循環器病センター
兵庫県立淡路医療センター
南部徳洲会病院
米沢市立病院
藤沢市民病院
医療法人 道心会 埼玉東部循環器病院
藤枝市立総合病院
県立宮崎病院
社会医療法人敬愛会 中頭病院
宮崎市郡医師会病院
名古屋市立東部医療センター
牧港中央病院
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
ツカザキ病院
広島県厚生農業協同組合連合会 JA 広島総合病院
八戸市立市民病院
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
平塚共済病院
紀南病院
山梨県立中央病院
松本協立病院
社会医療法人愛仁会 高槻病院
国保直営総合病院 君津中央病院
沖縄徳洲会 葉山ハートセンター
岐阜市民病院
名古屋市立大学病院
地方独立行政法人佐世保市総合医療センター
医療法人社団 公仁会 大和成和病院
町田市民病院
茨城県立中央病院
医仁会 武田総合病院
医療法人社団緑成会 横浜総合病院
東京都立墨東病院
自衛隊中央病院
舞鶴共済病院

医療法人財団 明理会 明理会中央総合病院
大崎市民病院
独立行政法人国立病院機構京都医療センター
岡村記念病院
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
岡山赤十字病院
社会医療法人 杏嶺会 一宮西病院
聖隷三方原病院
練馬光が丘病院
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
千葉県救急医療センター
枚方公済病院
おおくまセントラル病院
北関東循環器病院
J A長野厚生連 篠ノ井総合病院
日本大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 大阪病院
健貢会 総合東京病院
医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院
国際医療福祉大学 三田病院
イムス富士見総合病院
大阪府済生会中津病院
青森市民病院
沼津市立病院
医療法人社団 千栄会 高瀬クリニック
総合病院国保旭中央病院
国立病院機構 横浜医療センター
新百合ヶ丘総合病院
国立病院機構 千葉医療センター
北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院
茨城西南医療センター病院
湘南厚木病院
近江八幡市立総合医療センター
医療法人財団 荻窪病院
順天堂大学医学部附属浦安病院
社会医療法人 高清会 高井病院
ベルランド総合病院
藤元総合病院
医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院
鹿児島市立病院
国立病院機構 高崎総合医療センター
東京ベイ・浦安市川医療センター

東京女子医科大学八千代医療センター
JR 東京総合病院
吹田徳洲会病院
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
東京都済生会中央病院
【胸部】独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
昭和大学江東豊洲病院
長崎みなとメディカルセンター 市民病院
医療法人社団 昂会 湖東記念病院
大崎病院東京ハートセンター
ニューハート・ワタナベ国際病院
千葉メディカルセンター
名古屋掖済会病院
医療法人社団高邦会 高木病院
医療法人新生会 総合病院高の原中央病院
堺市立総合医療センター
金沢医科大学氷見市民病院
AOI 国際病院
【暫定実施施設】名古屋市立大学病院
社会医療法人 札幌禎心会病院
社会医療法人 天陽会中央病院
大森赤十字病院
新小山市民病院
おおたかの森病院
かわぐち心臓呼吸器病院
医療法人玉心会 鹿嶋ハートクリニック
帝京大学ちば総合医療センター
東海大学医学部付属八王子病院
【胸部暫定実施施設】奈良県総合医療センター
桜橋渡辺病院
医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
高石藤井心臓血管病院
公立昭和病院
飯田市立病院
淀川キリスト教病院
【暫定施設】米盛病院
水戸医療センター
イムス東京葛飾総合病院
医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院
医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院
医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院
【暫定施設】市立東大阪医療センター

【暫定施設】医療法人春林会 華岡青洲記念病院
社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院
医療法人松山ハートセンター よつば循環器科クリニック
【暫定施設】国際医療福祉大学成田病院

東京大学大学院医学系研究科・医学部 倫理委員会への審査依頼状

倫理委員会の設置者

東京大学大学院医学系研究科・医学部長 殿

実施研究組織の長

(実施研究組織名)日本ステントグラフト実施基準管理委員会  
(長の職名)委員長  
(長の氏名)古森 公浩 印

下記の審査事項についての審査を依頼いたします。

ただし、次の事項については、当実施研究組織にて保証いたします。

- (1) 研究責任者及び研究分担者等が、研究倫理並びに当該研究の実施に必要な知識及び技術に関する教育・研修を受講済みであること。また、起こりうる利益相反状態が適切に管理されていること。
- (2) 研究の適正な実施体制の確保
- (3) 研究対象者の健康被害等に対する補償等の措置
- (4) 予期しない重篤な有害事象が発生した場合の公表と厚生労働省への報告
- (5) 重大な逸脱が明らかになった場合の公表と厚生労働省への報告

当該研究組織における研究責任者	所属・職名	日本ステントグラフト実施基準管理委員会・委員長
	氏名	(自署)
	連絡先	(メール) komori@med.nagoya-u.ac.jp (電話) 09030141498
研究課題名	日本ステントグラフト実施基準管理委員会によるレジストリーデータの解析	
適用となる倫理指針	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	
東京大学との関係性	関係なし 関係あり 共同研究 その他(本委員会のデータマネージャーで、倫理委員会申請担当) 東京大学の関係者に関する情報: 氏名: 保科 克行 所属: 血管外科 職名: 講師	
依頼理由 (複数選択可)	自組織に倫理委員会がない 多施設共同研究として中央審査を依頼したい その他( )	
備考		

## 研究責任者及び研究分担者に関わる推薦書

### 倫理委員会の設置者

東京大学大学院医学系研究科・医学部長 殿

(実施研究組織名) 日本ステントグラフト実施基準管理委員会  
(長の職名) 委員長  
(長の氏名) 古森 公浩 印

下記の者は、研究責任者及び研究分担者として適任と判断したため推薦いたします。

### 記

研究課題名 : 日本ステントグラフト実施基準管理委員会によるレジストリーデータの解析

実施研究組織名 : 日本ステントグラフト実施基準管理委員会

研究倫理に関する  
教育・研修の受講状況

### 実施研究組織に

おける研究責任者	氏名 : <u>古森 公浩</u> (職名 : <u>委員長</u> )	有	無
研究分担者	氏名 : <u>保科 克行</u> (職名 : <u>データマネージャー</u> )	有	無
	氏名 : <u>重松 邦広</u> (職名 : <u>委員</u> )	有	無
	氏名 : <u>伊莉 裕二</u> (職名 : <u>委員</u> )	有	無
	氏名 : <u>当麻 正直</u> (職名 : <u>委員</u> )	有	無
	氏名 : <u>吉川 公彦</u> (職名 : <u>委員</u> )	有	無
	氏名 : <u>大木 隆生</u> (職名 : <u>委員</u> )	有	無
	氏名 : <u>細井 温</u> (職名 : <u>委員</u> )	有	無
	氏名 : <u>西巻 博</u> (職名 : <u>委員</u> )	有	無
	氏名 : <u>西村 隆</u> (職名 : <u>委員</u> )	有	無
	氏名 : <u>志水 秀行</u> (職名 : <u>委員</u> )	有	無
	氏名 : <u>宮田 哲郎</u> (職名 : <u>監事</u> )	有	無
	氏名 : <u>石丸 新</u> (職名 : <u>顧問</u> )	有	無
	氏名 : <u>加藤 雅明</u> (職名 : <u>事務局長</u> )	有	無

以上

## 東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会 倫理審査受委託に関する覚書

日本ステントグラフト実施基準管理委員会（以下、「甲」という。）と国立大学法人東京大学大学院医学系研究科・医学部（以下、「乙」という。）は、以下のとおり覚書を取り交わす。

### 第1条（倫理審査）

乙は、乙が設置する東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会（以下、「倫理委員会」という。）に対し、甲より審査の依頼を受けた場合、東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会倫理審査受託内規の定めるところにより、倫理委員会において「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号平成29年2月28日一部改正、以下「医学系指針」という。）、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（平成25年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号平成29年2月28日一部改正）に基づき倫理審査を行うこととする。

#### <対象となる研究課題>

研究課題：日本ステントグラフト実施基準管理委員会によるレジストリーデータの解析

### 第2条（倫理委員会の設置者及び所在地）

倫理委員会の設置者及び所在地は次のとおりとする。

（1）設置者：東京大学大学院医学系研究科長・医学部長 齊藤延人

（2）所在地：東京都文京区本郷7丁目3番1号

### 第3条（倫理審査に関わる業務手順）

乙は、倫理審査に関する標準業務手順書（以下、「手順書」という。）に従い、倫理審査に係わる業務を実施するものとする。

### 第4条（手順書及び倫理委員会委員名簿の提供）

乙は、本覚書締結後速やかに最新の手順書及び倫理委員会委員名簿（以下、「委員名簿」という。）を甲に提供するものとする。手順書又は委員名簿が変更された場合も同様とする。

### 第5条（研究対象者の保護）

乙は、甲の依頼による倫理審査の実施にあたり、研究対象者の人権、健康及び安全が侵害されることがないように注意しなければならない。

#### 第6条（情報の提供）

甲は、乙に依頼した倫理審査の実施にあたり、乙の求めに応じ、審査に必要な情報及び資料を提供しなければならない。

#### 第7条（利益相反の管理）

甲は、乙に依頼した倫理審査の実施にあたり、審査の対象となる研究に関する研究者の利益相反を適切に管理しなければならない。倫理審査上考慮すべき研究者の利益相反は、あらかじめ研究計画書、説明同意文書に記載するか、審査依頼時に甲が乙に書面により情報提供しなければならない。

#### 第8条（意見照会）

倫理委員会は、甲の長から意見を求められたときは、審査の対象とされる研究計画及び研究に関する各種報告の倫理的及び科学的な妥当性について意見を述べなければならない。

#### 第9条（倫理審査の結果通知）

乙は、甲から本覚書に基づき審査の依頼を受けた場合は、手順書に基づき倫理審査を実施し、審査終了後、原則2週間以内にその結果を甲へ通知するものとする。

#### 第10条（秘密保持）

甲及び乙は、審査に係わる業務において知り得た情報について、厳重に秘密を保持し、相互の同意なくこれを第三者に開示・漏洩してはならない。

#### 第11条（個人情報保護）

甲及び乙は、審査に係わる業務において研究対象者の個人情報（個人に係わる情報又は当該情報により特定の個人が識別されるものをいう）を知り得た場合は、個人情報を適正に管理し、研究対象者の権利及び利益を侵害する事のないようこれを取り扱わなければならない。

#### 第12条（実施状況報告、重篤な有害事象報告、研究終了届）

甲は、乙による倫理審査で承認を受けた研究の実施にあたり、医学系指針及び研究計画書の規定に従い、当該研究に関する実施状況について研究責任者より報告を受けなければならない。

- 2 前項の報告により、新たに倫理審査が必要と甲が判断した場合は、甲は速やかに乙に審査を依頼しなければならない。

- 3 第1項の報告により重篤な有害事象が発生したことが明らかになった場合は、甲は乙に速やかに報告しなければならない。
- 4 甲は、研究の期間が1年を超える場合には、少なくとも年に1回、研究の実施状況について乙の長に報告しなければならない。また、研究計画に変更が生じた場合も報告しなければならない。
- 5 甲は、乙による倫理審査で承認を受けた研究を終了した時点で、研究終了届を乙に提出しなければならない。

#### 第13条（記録の保存）

乙は、審査を実施するために提供された資料等を善良なる管理者の注意義務をもって保管・管理し、滅失、毀損、盗難、漏洩のないように必要な措置を講じなければならない。

- 2 前項の資料等の保存期間は、乙の倫理委員会の定めるところによる。
- 3 甲が前項に定める期間より長期間の保存を必要とする場合は、甲及び乙は保存期間及び保存方法について、協議するものとする。

#### 第14条（モニタリング・監査への協力）

甲及び乙は、医学系指針で定められるモニタリング及び監査並びに関係省庁による調査に協力し、その実施者の求めに応じ審査業務に関する全ての記録を直接閲覧に供さなければならない。

#### 第15条（審査費用）

甲は、倫理審査に要する費用（別に定める料金）を指定された期日までに、乙に納付しなければならない。ただし、甲と乙の共同研究における倫理審査に要する費用については、乙が負担するものとする。

#### 第16条（有効期間）

本覚書の有効期間は、本覚書締結日から3年間とする。また、有効期間満了の30日前までに甲又は乙から書面にて更新しない旨の意思表示がない限り、本覚書は2年間更新されるものとし、以後も同様とする。ただし、第10条から第14条までの規定は、有効期間終了後も有効に存続するものとする。

#### 第17条（覚書の廃止）

甲及び乙は、相手方が正当な理由なく本覚書に定める義務の履行に違反した場合は、その是正を相手方に求めることができる。この場合において、是正を求めた日より30日が経過しても是正されないときは、本覚書を廃止することができる。

- 2 甲及び乙は、倫理審査の受委託を終了する場合は、終了予定日の30日前までに相手方

に文書で通知することにより、本覚書を廃止することができる。ただし、本覚書が廃止された場合であっても、第10条から第14条までの規定は、有効に存続するものとする。

#### 第18条（損害賠償）

甲及び乙は、本業務の遂行に関し、その責に帰すべき事由により相手方に損害を与えた場合は、双方協議の上、誠意を持って損害賠償に当たるものとする。ただし、天災その他不可抗力による場合は、この限りではない。

#### 第19条（その他）

本覚書に定めのない事項及び条文の解釈上疑義が生じた場合には、甲乙は、誠意をもって協議の上解決するものとする。

以上、本覚書締結を証するため本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各1通を保有する。

年 月 日

甲

（住所）〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル  
（株）コンベンションリンケージ内  
日本ステントグラフト実施基準管理委員会 事務局  
（研究組織）日本ステントグラフト実施基準管理委員会  
（代表者） 委員長 古森公浩 印

乙

（住所）東京都文京区本郷7-3-1  
（研究機関）国立大学法人東京大学大学院医学系研究科・医学部  
（代表者） 研究科長・学部長 齊藤延人 印